THE Lion
ライオン誌3月号2009年（平成21年）2月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第51巻第9号
LIONS INTERNATIONAL
IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International
3
第51巻
第9号
March 2009
THEME 桜とライオンズ
早春の街を山を、一斉に薄紅色に染めて春の訪れを告げる桜。
全国に数ある桜の名所の中から、地域のライオンズが植え、
育んだ桜の名所を紹介する。

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編・**ライオンズクラブ入門**

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●中級編・**クラブ運営の基礎知識**

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●上級編・**リーダーシップを養う**

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号をお忘れなく。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門	部	●ウィ・サーブ	部
●クラブ運営の基礎知識	部	●ライオニズムよ永遠に	部
●リーダーシップを養う	部	●『ライオン』誌創刊号復刻版	部

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

最高の会員になるための確実な方法

ライオンズの会員は仲間と共に活動しています。グループの一員として奉仕することが好きなのです。仲間と共に行う善行は、私たちに充実感をもたらしてくれます。ライオンズのような確立された組織に加わり、他者への奉仕に自ら乗り出すことで、達成出来る成果も高まります。皆さんは入会して間もなく、その事実に気付いたはずです。

そのため、今年7月にアメリカ・ミネソタ州ミネアポリスで開催される国際大会にはぜひとも参加してください。世界中の仲間と交流することは、会員にとっての大きな喜びです。さまざまなセミナーが催され、そこであなたはクラブの改善方法を学び、新たな意欲と活力を持ち帰ることが出来るでしょう。

ミネアポリス大会に出席出来ない皆さんは、地区大会や各クラブの事業、会合に参加するなど、別の方法でライオンズの活動に加わりましょう。積極的に取り組むほど、得るものも大きくなるはずです。ライオンズに深くかかわることは人間的に成長する方法であり、私自身も例外ではありません。私はライオンズクラブに入ったことにより人格を高め、人生における自分の役割を見いだすことが出来ました。今の自分は入会前の自分とは別人です。ライオンズのおかげで、他者の不安や必要とされていることにも目を向けるようになりました。

皆さん既にご存じの通り、私は「奉仕で奇跡を」という国際会長テーマを掲げています。他者に対するライオンズクラブの善行は、一方で私たち自身にも奇跡的な変化をもたらします。会員は奉仕を通して、自分自身をレベルアップすることが出来るのです。

従って、それぞれが最高の会員になることを目指し、あらゆる行事に参加することを心掛けようではありませんか。そして出来れば、夏のミネアポリス大会でお会いしましょう。それは生涯最高の経験になると同時に、ライオンズとしての人生を更に高めることにつながるのです。

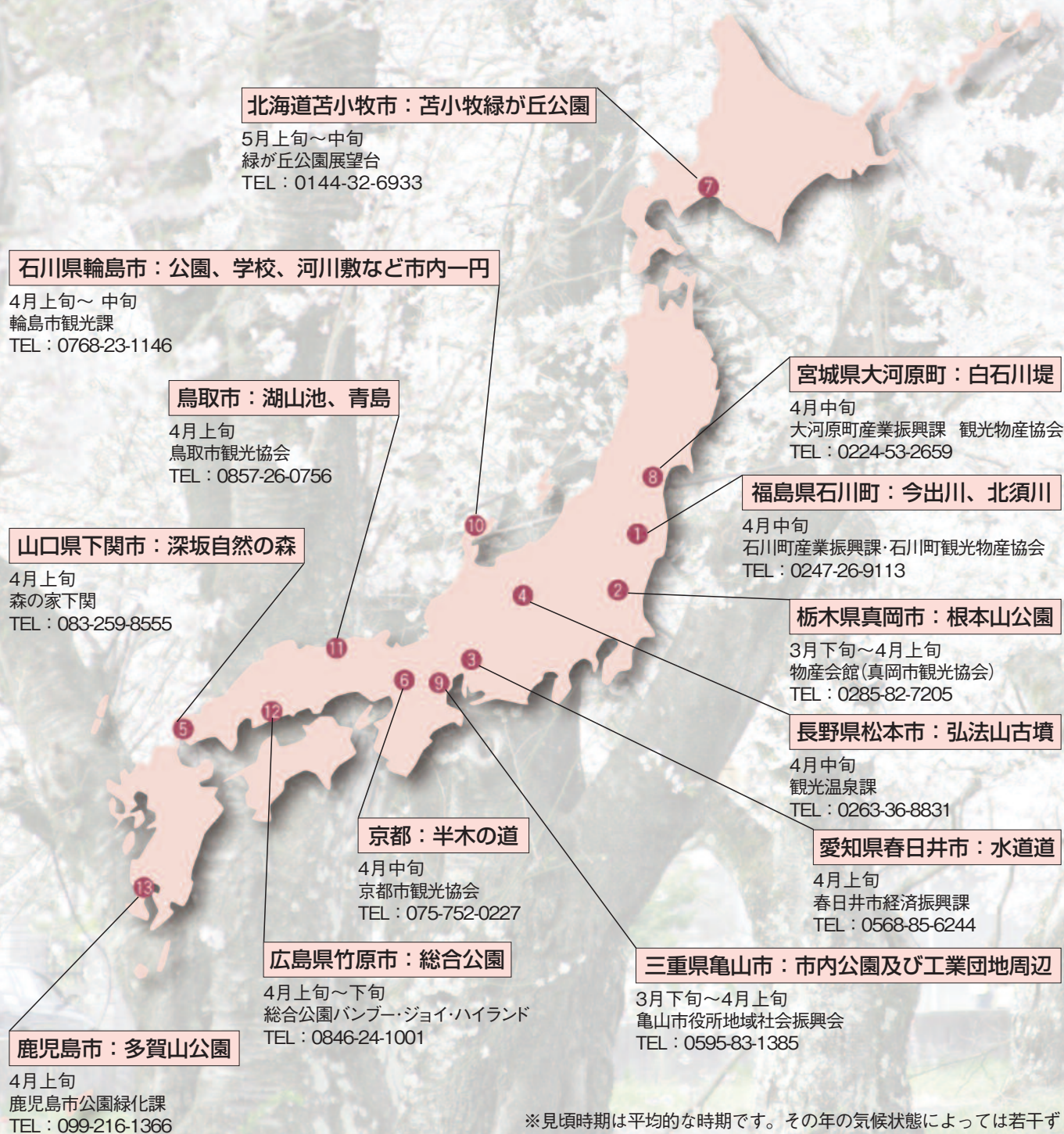
Al Brandel

2008-09年度国際会長
アルバート・F・ブランデル

THE LION MAGAZINE IN JAPAN
MARCH 2009, Vol.51 No.9
We Serve CONTENTS

2009年3月号　表紙
岡山県倉敷市
美観地区
写真：田中勝明
■詳細はウェブマガジンで
https://www.thelion-mag.jp

THEME 桜とライオンズ

もうすぐ桜の季節が巡ってくる。早春の街を山を、一斉に薄紅色に染めて春の訪れを告げる桜。今年も全国各地の桜の名所に人々が集い、花を愛で、語らい合って、春を謳歌することだろう。そんな全国に数ある桜の名所の中から、地域のライオンズクラブが植え、育んだ桜の名所を紹介する。

※見頃時期は平均的な時期です。その年の気候状態によっては若干ずれることがありますので、お出かけの際は現地情報をご確認ください

1 福島県石川町：今出川、北須川／石川、石川シニア ライオンズクラブ

町民が植え、育てた町の誇り。今出川、北須川の桜並木

写真／田中勝明　文／鈴木秀晃

「石川町の花咲じいさん」

そう呼ばれる人がいる。ライオン鈴木英二（石川シニア ライオンズクラブ／97歳）。毎日、リュックサックを背負って町内を歩き、桜の世話を続けている。

石川町は福島県南部、阿武隈山地の西にあり、町の中央を今出川と北須川が、緩やかに流れている。春にはその水面を覆うように、川の両岸約3キロにわたりピンクの桜が咲き誇る。ライオン鈴木はその一本一本を我が子のように愛しみ、手入れを欠かさない。

今出川と北須川の桜は昭和20年代に町役場の有志が、役場前の今出川沿いにソメイヨシノ200本を植えたことに始まる。その後も町や町民が植樹を続け、今では両川沿いに数千本もの桜並木が出来上がっている。まさに町民が植え、育てた町の誇りなのである。

中でも1974（昭和49）年から桜の植樹に取り組み始めた石川ライオンズクラブの功績が大きい。同クラブは74年5月に野木沢地区公民館の落成を祝し、ソメイヨシノ30本を公民館周辺に記念植樹した。2年後、石尊山にもソメイヨシノ200本、北須川堤防にヒガンザクラ10本などを植え、その3年後にも町内に約200本の桜を植樹。ライオン鈴木は環境緑化委員長として、このアクティビティにかかわったことがきっかけで、「桜守」として毎日の世話を始めるようになった。

その後、同クラブは継続事業として桜の植樹を取り上げ、30年間で実に約2千本の苗木を植えた。種類も豊富で、ソメイヨシノ、エドヒガン、彼岸一重、彼岸八重、沖縄緋桜、御衣黄、仙台紅しだれ一重、仙台紅しだれ八重、関山ぼたん、普賢象など10種類以上に及ぶ。

その石川ライオンズクラブは2004年、それまで所属していた会員の多くが、石川シニア ライオンズクラブを結成して転籍。石川ライオンズクラブは新たに息子世代を会員に迎え、一気に若返りを図った。そして桜並木は両クラブの誇るべきアクティビティとして受け継がれることになった。08年には「今出川、北須川の桜」が、福島民友新聞の「福島遺産百選」に選ばれ、町の誇りから県の誇りへとステップアップ。両クラブにとって、うれしい勲章が加わった。

そして今日も、ライオン鈴木は川沿いを歩いて桜の世話を続けている。

「100歳の祝い金をもらったら、また桜を植えるんです」

2 栃木県真岡市：根本山公園／真岡ライオンズクラブ

山に調和する桜木 緑を飾る白い花びら

写真／田中勝明　文／柳瀬祐子

取材で真岡の町を訪れた日は、朝から雨が降っていた。駅や町中には「真岡の1万本桜祭り」のポスターや看板が飾られていたが、平日の昼頃であったのと何よりも天気のせいだろう、花見客の姿は見当たらなかった。

真岡ライオンズクラブの桜は、街の中心部から4キロ程東に離れた根本山公園に植えられている。標高165メートルの里山が丸ごと公園になっている。山の入り口付近から山道に沿って約千本、道の両側に並ぶ。途中広場のように開けた場所があり、花見のメーン会場としてにぎわうそうだ。が、この時はたたまれた屋台が数台置かれているだけ。花は見たいけど人混みはイヤ。そんなわがままが叶うシチュエーション。雨に感謝した。

広場を抜けて桜の山道を更に登っていく。植えられた木はソメイヨシノだそうだが樹高が高い。周囲の雑木林に馴染むスラッとした形だ。桜が緑色の山を美しく飾り、花見はむしろ、化粧をほどこした山を楽しむよう。振り仰ぐと、白の中にかすかな赤みが差した桜の花びらが、曇った空の色に溶け込んで、雨粒と一緒に降ってきた。鳥がけたたましいくらいに鳴いている。

真岡ライオンズクラブが植樹を行ったのは1970年。クラブ結成記念事業の一つだった。ところがこの植樹、十分に大規模な活動で、桜の木は年を追うごとに育って市民の楽しみになっているのに、なぜかクラブの功績であることが忘れられていた時期がある。

結成30周年を迎えた2000年。植樹にかかわったメンバーは既に一人もいなくなっていた。クラブには当時の記録も残されていない。しかし、確かに自分たちのクラブの先人が植えたのだと聞いたことがある。そこで記念事業として、ライオンズクラブの名前を入れた「千本桜の碑」を建てようとした。すると、役所が「いや、あれは市が植えたものだ」と言い出した。役所に残る古い文書をひっくり返し、とうとうクラブの寄贈であることが明らかになったのである。碑は、そこまで足を伸ばす花見客は多くない桜並木のいちばん奥に、ひっそりと置かれた。「私が主役」と出しゃばらず、誰のものとも知れぬうちに山との調和を深めていった千本桜にふさわしかろう。

「1万本桜」を謳うだけあって、真岡には街の随所に桜の名所がある。真岡鉄道を走るSLと線路沿いの菜の花、桜並木の3点セットの撮影スポットなどは特に名高い。が、私はやはり山の桜をお勧めする。それも人出の少ない日に。ぜひ。

3 **愛知県春日井市：水道道（みち）／春日井ライオンズクラブ**

人影まばらな遊歩道から、花いっぱいの憩いの道に

写真・文／河村智子

通称「水道道」と呼ばれているこの道は、木曽川から名古屋市民225万人の飲料水を引く3本の導水管の上にある。大正の初めに整備され、正式には尾張広域緑道と言う。木曽川の取水口から犬山市、小牧市を通り、いったん春日井市の沈殿池で浄化されて、名古屋市内の浄水場へ送られる。この沈殿池から南の2・3キロが、春日井ライオンズクラブが植樹した桜並木だ。桜の季節ばかりでなく、散歩道やジョギング・コースとして日頃から市民に親しまれている。

今は花いっぱいの遊歩道だが、30年前には全く趣が異なっていた。

「以前は雑草が生い茂り、ゴミが散乱して、周囲の人たちも避けて通るようなひどい道でした」。近くに住むL伊藤智允はこの道を何とかしたいと働き掛けていたが、なかなかうまく進展しなかった。L伊藤の長年の努力が実って、クラブは結成20周年の記念事業として水道道を桜並木の新名所にする計画を打ち立てた。名古屋市の許可を得て、この年に350本、翌年は300本と、ソメイヨシノの苗木を植樹。消毒などの手入れをし、毎年のライオンズ・デーには下草刈りを行って、見守り育んできた。

成長した木は大きく枝を伸ばして、桜のトンネルになった。満開となる3月末から4月初旬には多くの人が足を運び、花を愛でつつのんびりと散歩を楽しんでいる。桜はもちろん、歩道脇の花壇には菜の花やスイセンなど花々も彩りを添えて、まさに春爛漫といった風景だ。

7年程前、水道道が再整備されたのを機に、歩道脇のスペースの管理が近隣住民に委託されることになった。住民たちは花壇を造成し、手塩に掛けて花々を育てている。

水道道には、もうゴミなど見当たらない。たとえ落ちていたとしても、すぐに誰かが拾ってくれる。ライオンズと地域の人たちの手で守られてきたこの道は、市民に愛される春日井の桜の名所となった。

4 長野県松本市：弘法山古墳／松本アルプス ライオンズクラブ

全山を淡い桜色に染め、信州に春の訪れ告げる

写真／田中勝明　文／河村智子

まるで昔話の挿絵に出てきそうな、こんもりとした桜色の小山。松本市街から国道19号線を南下していくと、左手前方にその姿が見えてきた。

この小山の正体は、4世紀頃に築造された全長66メートルの前方後方墳、弘法山古墳。この規模の古墳としては東日本で最も古く、竪穴式石室から鉄斧や鏡などが見つかっている。

山すそから山頂近くまでを覆う桜は9種類、約5千本。離れた所からはソメイヨシノの薄紅一色と見えていたが、近づいてみると、そこここにオオヤマザクラやシダレザクラなどの濃い紅色が添えられて、濃淡のコントラストが美しい。

登り口から10分余りで山頂に到着する。頂上付近はぽっかりと開けた草地で、その地形から足下が古墳であることがよく分かる。視界は三方に開け、桜の向こうに松本市街を、天気が良ければ遠く残雪の北アルプスを一望出来る。桜の開花は例年4月半ばで、月末に掛けて開かれる桜まつりは大勢の市民でにぎわう。

晴天ならば遠くに北アルプス連峰が望める

かつてはニセアカシアで覆われていた弘法山古墳を、中信地区でいちばんと言われる程の桜の名所に生まれ変わらせたのは松本アルプス ライオンズクラブ。1984年、結成20周年の記念事業の一環だったが、もちろん事はそう簡単には運ばない。さまざまな悪戦苦闘があった。

まず、当時管理権を持っていた文化庁の許可を得るのに大変な苦労をし、伐採後の根を絶やすのには予想以上の費用がかかった。そして84年5月、ボーイスカウト、ガールスカウトと市民ら400人と共に千本の苗木を植樹。この年は夏の異常気象で活着率が悪く、自然を相手にする事業の難しさを実感することとなった。その翌年には2千本とその後も植樹を続け、東屋も建設した。クラブがこれまでに植えた苗木は約5千本に上る。結成25周年を迎えた89年には、山の東側に地元の伝説に登場する泉小太郎の像を建てて公園を整備。献眼者の慰霊塔も建立した。

事業開始から20余年が経過した今は、桜の山を作ったクラブの業績もやや影が薄くなっている。「昨今は地元住民がが作ったと報じられることもあり、今は亡き諸先輩の面影を偲びつつ、その功績を語り伝えることが大切な使命だと痛感しています」(ライオン六波羅吉博)。

クラブでは毎年秋と春の2回、公園周辺の草取りを行っている。春の労力奉仕の後は第2例会とし、桜の下で弁当を広げ花見を楽しむのが恒例だ。

5 山口県下関市：深坂自然の森／下関響灘ライオンズクラブ

市民の思い出を栄養分に、県下屈指の桜の名所を目指す

写真・文／鈴木秀晃

「84歳の母は、乗っていたバスの急停車で転倒。肋骨3本を折り、肺にも傷が付いて一時は危険な状態となり今も入院中です。花を育てるのが唯一の楽しみというより生きがいの母のため」

「97歳になる寝たきりの母は元気な頃、深坂の桜並木を散歩コースにしていました。ぜひ母に見せてあげたくて」

下関市郊外の深坂自然の森を「1万本の桜で彩ろう」と活動している下関響灘ライオンズクラブは、市民から桜のオーナーを募って毎年植樹を続けている。そのため桜の苗木には一本一本、オーナーたちの思いが込められている。冒頭に紹介した他にも、子どもや初孫の誕生、結婚、就職、還暦など、人生の慶事を記念して応募した人たちが多い。

オーナー植樹の第1期は1999年。当初、200人を予定していたが、予想以上の反響で初年度は355人が参加。その後も順調にオーナーは増え続け、2008年までに1726本の植樹を行っている。

深坂自然の森は大正時代に灌漑用水池として作られた深坂ため池を中心に、約250ヘクタールの広さがある。同クラブでは80年から深坂ため池で白鳥の飼育をしており、白鳥は森のシンボル的存在となっていた。これに深坂桜が加わったことで、市民にも下関響灘ライオンズクラブと言えば自然の森と言われるまでになっている。

が、クラブはそれに安住することなく、さまざまな活動を企画し、推進している。その一つが、深坂自然の森へ通じる道路のアダプト事業。クラブではこの道を「桜街道」と名付け、維持、管理をする他、桜並木を作るべく道路沿いに植樹をしている。

また、桜の植樹は企画段階から、市民レベルへと発展させることを目標としていた。そこで全オーナーに「下関深坂さくら友の会」設立を呼び掛け、06年、趣旨に賛同してくれた250人の市民と共にこれを実現させた。現在、友の会は日本初のボランティア桜守集団を目指し活動中だ。

「1726の思いを大切に育て、将来は県下屈指の桜の名所にして、次世代に伝えていきたい」

6 京都：半木（なからぎ）の道／京都鴨川ライオンズクラブ

愛する鴨川を守る。桜色のトンネルに願い込めて

写真・文／河村智子

京に数ある桜の名所でソメイヨシノがはらはらと散り始める頃、半木の道ではベニシダレザクラが蕾を開く。上賀茂神社から下った賀茂川の左岸、北山大橋から北大路橋までの約800メートルの小道に、73本の桜が大きく枝を伸ばしている。

「半木」は、隣の京都府立植物園内にある半木神社にちなんだ名。昔、鴨川はしばしばはんらんを繰り返した。洪水で上流の神社が流れ、その流木が漂着した地に再建されたもので、「流木（ながれぎ）」が「半木」に転じたと伝わる。京都鴨川ライオンズクラブが10周年を記念して、遊歩道を完成させた際、当時の蜷川虎三府知事が「半木の道」と命名した。

1962年結成の同クラブは、チャーター・ナイト記念で鴨川河畔にケヤキを植樹したのを手始めに、鴨川にまつわる活動に取り組んできた。当時の川は汚れ、魚も姿を消していた。結成2年後、市民の手で発足した「鴨川を美しくする会」には多くの会員が加わり、クラブと連携して多彩な活動を展開。その協力は現在も続いている。

第35回鴨川茶店は4月11、12日に開催。初の試みとしてライトアップを行い、夜桜を楽しんでもらう

結成10周年の記念事業を賀茂川河畔の桜植樹としたのも、自然な流れだったのだろう。3年を掛けてベニシダレザクラ100本を植樹。76年4月に半木の道が開通した。以来30余年、枝を支える棚を作り、灌水装置を設けるなど休むことなく手入れを続けている。道のある堤は川底の土を上げて作られたため小石が多く、桜の生育には決して良い土壌とは言えない。これまでに40本近くの植え替えも行った。

花の満開の時期に合わせて、4月中旬には鴨川を美しくする会と共に「鴨川茶店」を開く。今年で第35回目を迎えるこの催し、河川敷に茶店を開き、琴と尺八の演奏で花見に興を添えると共に、川の美化や環境問題を呼び掛けて、川を守り美しくする活動を広げようと続いている。

散策路として地元の人々に愛されてきた半木の道は、2年前にJR東海のポスターに登場し、観光客にもお馴染みの名所となった。訪れる人たちは頭上に降りかかる八重の花々に歓声を漏らし、京の春を満喫する。

7 北海道苫小牧市：苫小牧緑が丘公園／苫小牧、苫小牧中央、苫小牧白鳥、苫小牧ハスカップ ライオンズクラブ

桜の開花は初夏の訪れ

　耐寒性が強いエゾヤマザクラは北海道を代表する桜で、道内各地の山に自生しており、また公園や街路樹などにもよく植えられている。オオヤマザクラ、ベニヤマザクラとも呼ばれる。葉が芽吹くのと同じ頃に、やや赤みの濃い淡紅色の花を咲かせる。

　緑が丘公園通り沿いに千本、金太郎池周辺に800本、園内全体では約2千本の桜が植わっている。ライオンズクラブが植えたのは前述のエゾヤマザクラで、76～81年に200本、以降は約1500万円が当てられたが、本数はカウントされていない。ともかくライオンズの植樹なくては、園の桜はずっと寂しいものだったのは確かだ。

　5月半ば頃、「緑が丘公園まつり」が開かれる。公園開きと桜祭りを兼ねたイベントだ。市民はもとより、近隣の街からも多くの花見客が集い、「初夏の訪れ」を祝うのだ。

8 宮城県大河原町：白石川堤／大河原ライオンズクラブ

「さくらの名所百選」の地に選ばれた一目千本桜

　白石川堤の「一目千本桜」は、約8キロにわたって続くソメイヨシノの桜並木。東京・飛鳥山公園の桜に感動した同地出身の実業家・高山開治郎氏が、故郷にもこれを再現しようと私財を投じ、大正12年に700本、昭和2年に500本を植えたことに始まる。

　大河原ライオンズクラブは1979年から、この町のシンボルの維持に当たっている。樹齢を重ねた桜並木は見応え十分。しかし一方で、一般に寿命が60年とも言われるソメイヨシノは、毎年、枯れたり倒れたりする木があり、景観を守るためには手入れと補植が欠かせない。

　春。残雪を頂く蔵王連峰を背景に、一斉に咲き誇る桜は壮観。また、日が落ちた後は、ライトアップされた夜桜が川面に映って幻想的な美しさを醸し出す。「さくらの名所百選」「遊歩百選」などにも選ばれた名勝である。

9 三重県亀山市：市内公園及び工業団地周辺／亀山ライオンズクラブ

千本達成後も植樹は続く

　日本人の誰もが親しみを感じ、明るさと新しい出発のイメージがある桜。「サクラ一〇〇〇本植樹運動」は、その桜で市内の公園や工業団地周辺を埋

め尽くそうというもの。

1990年から毎年100本ずつ植えて数を増やし、10年目にとうとう千本を達成した。業者には頼らず、メンバー自ら穴を掘り、添え木をし、下草を刈った。近くに取水出来る所がなく、根づくまでは水をタンクに入れて運んだ。それだけに桜の木の成長に喜びを感じる。

春には花を楽しむために市民らが集い憩う。千本達成の記念碑を建てたが、以降も植樹は続けられている。

10 石川県輪島市：公園、学校、河川敷など市内一円／輪島ライオンズクラブ

剪定した桜の切り口に漆を塗布

平和への祈りを託して日本海と太平洋を桜でつなごうと、金沢・名古屋間のバス路線に桜を植え続けた国鉄バスの車掌さんが居た。その人、佐藤良二氏による「さくら道」の終着点となったのが輪島である。

輪島ライオンズクラブもまた平和を祈りつつ、街を桜でいっぱいにしようと、周年行事やライオンズ奉仕デーの折に、市内一円で植樹を行っている。90年には公園の中に「ライオンズの森」を設定し、シダレザクラ30本を植えた。花見の季節には市民の宴席となる。

「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と言われるが、場所柄もあり桜の枝を剪定することになった。病害虫予防のため、消毒殺菌力のある地元ならではの漆を切り口に塗ることに。が、実施日は強風で、刷毛に取った漆が糸を引いて会員の顔や服に付着。かぶれたり服に着いた漆の処置に悩まされたのだった。

11 鳥取市：湖山池、青島／鳥取中央ライオンズクラブ

現存する桜250種がそろう島

砂丘の堆積により日本海から分離されて出来た湖山池に、周囲1・8キロの青島がある。ここに、現存する桜250品種を集めたいという広江美之助京都大学教授の希望を受けて1971年、ライオンズクラブの植樹が始まった。

毎月1回、早朝から夜まで、穴掘り、植え付け、草取り。繁殖力旺盛なカズラの大群と戦いながらの除草、施肥、整枝等の管理育成。蔦にまきつかれて苦しそうな幹に心痛めたり、二股の枝の片方を切り落とすとは殺生だとためらったり、子どものように慈しんで育てた。

また、くずかごやベンチを設置するなど、施設の拡充を図り、今や青島は見事な桜の園である。キャンプや鳥取こども祭りといったイベントが開催されたり、桜のトンネルの下で散策を楽しんだり、市民の憩いの場となっている。

12 広島県竹原市：総合公園／竹原ライオンズクラブ

スポンサー制度で市民参加の植樹

1994年に竹原市総合公園「バンブージョイハイランド」がオープンしたのを機に、竹原ライオンズクラブはこの公園を花と緑に囲まれた市民の憩いの場にしようと、桜の植樹を始めた。市民や企業にも呼び掛けて、植樹ボランティアや苗木のスポンサーを公募。植樹を通じて、皆で親しみのある公園を作っていきたいと考えた。96年からは「千本桜植える会」と共催で毎年実施している。

これまでに卒園や結婚、喜寿を迎えた記念や、職場やボランティア・グループなど、老若男女、多くの人々が参加している。

花見シーズンには「たけはら桜まつりinバンブー」が開催され、太鼓やダンスが屋外ステージで披露されたり、グルメ・コーナーが設けられるなど、地域屈指の花見スポットとしてたくさんの家族連れや花見客が訪れる。

13 鹿児島市：多賀山公園／鹿児島中央ライオンズクラブ

日本の桜を外国人にも楽しんでもらいたい

多賀山公園には日露戦争の英雄、東郷平八郎元帥の墓があり、高台には銅像が市街を見下ろすように立っている。この公園一帯を千本桜の名所にすることで、県民市民はもちろん、鹿児島を訪れる外国人観光客にも楽しんでもらおうと植樹を始めた。1964年、クラブ結成1周年の記念事業としての企画だった。それから毎年30～50本を植え、公園を桜の名所に育て上げた。

これまでには数回の台風に見舞われて倒木し、移植や手入れに苦労することもあった。が、そのかいあって、今や公園は桜の名所として知られるようになった。周囲にはツツジも植え、案内板も作成した。

最近は市の公園課が水道、トイレ、休憩室等を整備するなど、より気持ちよく過ごせる公園となった。クラブも毎年4月の第1例会に姉妹クラブを招いて、「観桜会」を開いている。

全国には、ライオンズクラブが植え育てた桜の森や名所があるだろう。ライオンズの桜巡りの旅なんて楽しそうではないか、と今回の特集が立ち上がった。そこで全国のクラブを対象にアンケートで情報収集したところ、回答のあった1222件中415クラブが桜を植えていた。

今回の掲載クラブは規模と樹齢を基準に選んだが、紹介出来なかったライオンズの桜が全国にはまだ数多くあることを、ここでお知らせしておく。

pick up

ピックアップ

年間30人の新会員を迎えるコツ教えます

昨年度1年間に20人以上の純増を成し遂げたクラブは全国で9クラブに上った。家族会員や、ライオネスがクラブ支部に転換した事例が多かったが、新規に開拓したクラブもいくつかある。目立ったところでは、新会員30人を招請した富山県・滑川ライオンズクラブ、23人の茨城県・取手ライオンズクラブ、16人の福島県・いわき東ライオンズクラブ、13人の千葉県・船橋北ライオンズクラブ、10人の栃木県・大田原ライオンズクラブが挙げられる。そこで今回のピックアップでは、30人という突出した会員招請を果たした滑川ライオンズクラブを中心に、会員獲得のポイントを探ってみたい。（取材／鈴木秀晃）

50周年の最重点目標は会員増強

富山湾に面し、早月川の扇状地に広がる滑川市。南には雄大な北アルプス立山連峰、北には4月から6月にかけて蜃気楼が見られる有磯海を望む。

富山市の西に隣接していることもあって、この辺りは江戸時代から富山売薬の影響を強く受け、配置薬を担いで全国各地へ行商に出る人が多かった。昔も今も農業が盛んな土地だが、中には半数近くが薬の行商を兼業とする地域もあったようだ。

現在、市の人口は約3万3千人、そのうち成人は2万7千人となっている。市内の事業所数は1500社だが、滑川商工会議所管内で言えば約2千社（商工会議所会員約千社）がある。

ライオンズは1957年結成の滑川ライオンズクラブ（高橋久光会長）と、1968年結成の滑川有恒ライオンズクラブ（愛場文夫会長）の2クラブがある。

昨年度、滑川ライオンズクラブは56人から81人に大躍進、招請した新会員は30人に上った（退会5人）。一方、滑川ライオンズクラブの影に隠れた形になったが、滑川有恒ライオンズクラブは退会者を一人も出さず、43人から47人へ4人の純増を遂げている。

「実は昨年度、当クラブは結成50周年を迎えまして、その最重点目標として会員増強に取り組んだのです」

と説明してくれたのは、滑川ライオンズクラブの毛利功幹事。

その中心となったのは、古栃一夫前会長と前佛栄一前幹事だった。古栃は第3副会長に就任した年から目標を立て、50周年に向け準備を整えてきた。

「節目の50周年ですから、普通ならそれらしい記念事業をということになるんでしょうが、一発派手な事業をやって、それで終わりではいかがなものか。そう考えました。そこで、一過性のものではなく、クラブの強化こそが次の50年につながる、と会員増強に取り組むことにしたわけです」

と、古栃。

「ただ、どの会議に出ても、会員増強は難しいという話になるんですね。例えば、以前は銀行や郵便局の支店長が、どこのクラブにも入っていました。ところがバブル崩壊後はコスト削減で、会社が経費を出してくれなくなり、支店長クラスの会員が軒並みいなくなってしまった。うちのクラブで会費は28万円なんですが、その28万円を節約して会社が楽になったか、と退会した支店長に聞いたら、苦笑いしていました。本社の方針なんでしょうね」

滑川ライオンズクラブは会員増強と並行して例会の活性化にも取り組み、話題のテーマについて外部講師を招き、会員の知識欲を刺激した

会員候補者リストを眺めながら晩酌する日々

そんな厳しい状況の中、滑川ライオンズクラブではまず、会員候補者のリスト作りから始めた。ライオン古栃は滑川市議会議長を務めたこともあり、地域の情報に精通していた。そこで自らが先頭に立って候補者の選定に当たった。

会員それぞれの人脈により、リストは徐々に充実していった。親戚、友人、同級生、後輩、商工会議所青年部、青年会議所など、さまざまな関係が生かされた。ライオン古栃はそのリストを見ながら晩酌をする日が続いた。

そしてついに100人のリストが完成。次の段階として、個別訪問が始まった。ここでも先頭に立って会員候補者と面談したライオン古栃は、入会を勧める際、次の3点をアピールしたという。

1　街づくりにおけるライオンズクラブの役割：会員を増強し、新しい事業に取り組み「世界一」と言われるようなクラブを目指す

2　青少年育成に力と特色を：戦後、東京都知事を務めた後藤新平の言葉「金を残す者は下、仕事を残す者は中、人物を残す者は上」などを引用し、地域の人材育成を強調

3　自己研鑽：人生、「生涯新人」の気概を持って、会員に学び、それぞれ「友は財なり」の精神でクラブ活動に励む

こうして精力的に会員招請に取り組んだライオン古栃だが、時には話を聞いてもらえず虚しい思いをしたこともあった。が、それでもあきらめず努力を続けるうち、他の会員が事前に声をかけておいてくれた候補者もあり、徐々に成果が出始めてきた。それらの新会員の入会動機を聞くと、ライオン古栃のアピールが実を結んでいたことが分かる。

「青少年育成や町おこしなど各種活動に参加して地域社会に貢献すると同時に、会員の皆さんとの交流を深めたいと思いました」（ライオン細木正巳／43歳）

「多少なりとも地域発展に役立てればと思いました」（ライオン永島弘／64歳）

一方、それぞれの候補者によりケースバイケースでライオンズのメリットをアピールしたのはライオン加藤清治。若手のライオン金山真隆（34歳）とライオン中川誠（48歳）にはさまざまな年齢層で対人関係が広がることを強調。福祉施設の施設長を務めている同級生（ライオン松原良子／61歳）にはアクティビティを前面に押し出した。また、中にはクラブに友人、知人が多いことから、ライオンズへの復帰を強く希望してくれた元会員のライオン山岸和敏（68歳）のような例もあった。

新会員がもたらすクラブの活力

こうして50周年を迎えるまでに10人の入会予定者が決まった。

「やれば出来るもんだ、と皆で笑ったものです」(ライオン古栃)

それが自信となり、新会員の招請活動が加速。8月に大量16人が入会すると、10月にも4人が加わり、その月に開催された50周年記念式典時には20人の新会員を迎えていた。

ところが、その式典でのこと。来賓として出席していた伏見龍元国際理事が、ライオン古栃にこう話しかけた。

「横浜では、僕がスポンサーした29人が最多なんですよ。どうです、それを上回る30人を目指してみては」

この一言が、ライオン古栃の心に火を着けた。式典のあいさつの中、ライオン古栃は思わず、こう宣言していた。

「新会員30人を目指します!」

さあ、それからが大変。実は式典でキリのいい20人を達成したことで、クラブには一服感が漂っていた。再度、手綱を締め直し、新会員獲得に向かうのは、なかなか骨の折れることだった。

が、やれば出来る、努力をすれば必ず何人かは応えてくれる、そう言い聞かせ、会員たちの奮闘が続いた。そして年が明けた1月に5人、2月に2人、3月に3人の新会員を迎え、ついに30人という大台を達成したのだった。

「会員が減っていくと、自信を失いがちになります。自分たちの活動は会員のモチベーション維持につながらないのか、と。しかし、会員が増えていくと、それが活力になってアクティビティも活発になります」

とライオン古栃。これは昨年度、多くの新会員を獲得した他のクラブにも共通している感想だ。

「若い会員を多く迎えたことで、アクティビティがより活発になった。会員数が増加すれば事業費も当然増えるので、新しい事業にも取り組めるようになった」(取手ライオンズクラブ)

「新しいアイデアが次々に出され、回を追うごとに内容の充実した活動が展開されている。クラブ自体が活性化し、例会出席率が良くなった。女性会員が入会したことで、例会等が華やかになった」(いわき東ライオンズクラブ)

「若いメンバーが増えたことでクラブが活性化され、例会時に学習会を開きライオンズクラブについての知識を高め、行事やアクティビティにも活発に取り組み、クラブ全体が明るく楽しいものとなった」(船橋北ライオンズクラブ)

「新会員の積極的な例会出席によりクラブの活性化が図られ、特に30代、40代の若手会員の提案がどんどん出てきて、停滞ぎみだったレオクラブの活動を始め、各委員会の活性化に寄与している」(大田原ライオンズクラブ)

さてそこで、次はあなたのクラブの番である。まずは目標の設定から。

国際協会によると、昨年度、日本ライオンズは1クラブ平均2・9人の新会員を迎えた。クラブの平均会員数が33・3人だから、会員数の8・7%の新会員を招請していることになる。

そんな中、10%を超えた地区も8地区を数え、うち5地区(333・E15・3%、333・C14・3%、333・B13・2%、335・A10・6%、333・A10・3%)が、年度末に会員数の純増を達成している。昨年度、日本で純増を果たしたのはこの5地区だけ。そこで分かりやすく、会員数の1割を目安に新会員を招請してみてはどうだろう。

目標が決まったら、後は行動あるのみ。候補者をリストアップし、クラブ一丸となって招請活動を展開しよう。

■滑川ライオンズクラブ:新会員30人(30代男性6人/40代男性9人/50代男性2人・女性1人/60代男性9人・女性3人)
「100人の候補者をリストアップし、精力的に招請活動を展開。同時に会員が出席したくなるような魅力的な例会作りに取り組んだ」

■取手ライオンズクラブ:新会員23人(20代男性1人/30代男性2人/40代男性10人/50代男性8人/60代男性2人)※取手ライオンズクラブではこの他、ライオネスからクラブ支部に転換した会員38人を含め、全体では61人の新会員を迎えている
「多くの会員で数多く勧誘する」

■いわき東ライオンズクラブ:新会員16人(20代女性1人/30代男性3人・女性3人/40代男性7人/50代男性2人)
「毎例会で会員増強を呼び掛け、常に会員増強の意識を持ってもらっている。会員増強月間を決め、招請活動を一気に行う」

■船橋北ライオンズクラブ:新会員13人(20代男性1人/30代男性2人/40代男性5人/50代女性3人/60代男性2人)
「例会見学に何人かずつ招き、友達同士が互いに誘い合って入会してくれるよう話をし、入会に向けて全員で協力し合った」

■大田原ライオンズクラブ:新会員10人(30代男性1人/40代男性2人/50代男性4人・女性2人/60代男性1人)
「新入会員獲得特別委員会を設け、月2回の会議を開き入会見込みのある候補者に対し会員2、3人で訪問し勧誘した」

■国際理事
杉本忠夫
（北海道・札幌ライラック）

私たちの飛躍の土台となるもの

今回は、ライオンズクラブの原点を再確認し理解を深めた上で視野を広げるため、ライオンズの基本的事項についてさらってみたいと思います。

●国際協会の創設：シカゴの実業家メルビン・ジョーンズが、アメリカ各地にあったビジネス・サークルに社会奉仕組織の結成を呼び掛け、27団体がこれに応えて、1917年にライオンズクラブが誕生。これから3年後、カナダにクラブが設立され、国際的な組織となった。

●協会の目的（要点）：世界人類間の相互理解。公民の原則の高揚。地域社会の向上。クラブ間の友愛。自由な討論の場。無報酬の奉仕、個人事業の能率化、道徳的水準の向上。

●地区ガバナーと議長：ガバナーは国際役員であり、議長はそうではない。

●協会はクラブをベースとし、クラブ優先で事の処理に当たる。

●協会は世界のクラブを管理する。下部機構として、準地区及び複合地区等があり、協会の方針に従って管理、運営を行う。

世界全体は七つの会則地域に分けられる。

●クラブの意志を集約出来るのが国際大会、また、最高の決裁機関は国際理事会である。その下には執行委員会があり、閉会期間中には理事会に代わってその職務を代行する。

●以下を国際役員と言う。会長、前会長、第1副会長、第2副会長、国際理事、地区ガバナー、国際本部長、幹事、会計、並びに国際理事会任命による役員。

＊役員になるには会員であることが条件です。ガバナー以外のキャビネット構成員は国際役員ではありません。

●国際理事の定数：理事の定数は34人。任期は2年で、毎年半数が改選される。会則地域ごとに定数がある。

＊今（08‐09）年度の東洋・東南アジア地域の理事は5人（日本3人、韓国及びマレーシア各1人）。09‐10年度は6人（日本及び韓国各2人、フィリピン及びマレーシア各1人）です。

●地区と単一クラブ：ライオンズの融和と協調を目的として、ライオニズムの高揚のために、協会の基本的活動方針に沿って、地区は地区内のクラブ運営の円滑化を図る。

＊クラブは伝統や個性を大切にしながらプライドを維持することが望ましいでしょう。

ここで、日本から選出された唯一の国際会長、村上薫第65代会長（1981‐82年度）のメッセージを紹介したいと思います。

「我々ライオンズクラブが地域社会に奉仕するためには、リーダーシップを十分に理解し育成する必要がある。常に研鑽を積んでいくことが大切である。一人ひとりのメンバーがリーダーシップを発揮すれば、クラブは更に強力なものとなり、地域社会に対する奉仕はより効果的なものとなる」

今後のクラブの運営にはリーダーシップを発揮され、大胆な合理化にも取り組む姿勢が極めて重要だと思います。また、新たに就任される次期クラブ会長を始め役員の皆さんは、最近の経済、金融危機等を考慮され、クラブ運営をより確かなものとされるよう望んでおります。

国際大会の主会場となるミネアポリス・コンベンション・センター

国際大会：魅力ある都市で、楽しい経験を

近代的な高層ビル群と歴史的な建造物、周囲を豊かな自然に囲まれる街をミシシッピ河が悠々と流れ、対岸にある州都セントポールと「ツイン・シティー」と呼ばれる。アメリカ・ミネソタ州ミネアポリスは昨年、『フォーブス』誌により全米で最も住みやすい街の一つに数えられた。2009年7月6～10日、ミネアポリスに世界各国のライオンズが集い、第92回国際大会が開かれる。

国際大会にはインターナショナル・パレード（7日）や開会式（8日）、閉会式（9日）などのプログラムの他にも、参加者を楽しませるさまざまな催しが企画されている。7日のインターナショナル・ショーにはアメリカが誇るロックバンド、ザ・ビーチ・ボーイズが登場。また、大会会期中の7日～9日は地元ミネソタ・ツインズとニューヨーク・ヤンキースの試合が組まれており、8日夜は「ライオンズ・ナイト」と銘打って国際会長による始球式が行われる予定。

ミネアポリス国際大会でパウエル元国務長官が基調講演

第92回国際大会で、コリン・パウエル元国務長官が基調講演を行うことが発表された。講演は8日の第2回総会で行われる。パウエル元国務長官は、1989～93年にアメリカ軍のトップである統合参謀本部議長を務め、湾岸戦争などを指揮。2000年にはジョージ・ブッシュ大統領の下でアフリカ系アメリカ人初の国務長官に就任、05年に辞職した。

2007年度世界のアクティビティ

国際協会の発表によると、2007・08年度の世界のライオンズのアクティビティは総額6億1000万ドルで1クラブ当たり1万3375ドル、奉仕活動に費やした時間は3300万時間で1クラブ当たり739時間だった。会則地域ごとにクラブが実施した割合が最も多かった事業を見ると、東洋・東南アジアが献血(72%)、アメリカ及びその周辺は眼鏡収集(58%)、カナダ、中南米・メキシコ・カリブ海諸島、ヨーロッパ、大洋州及びその周辺はいずれも高齢者支援(47%、56%、41%、61%)、インド・南アジア・アフリカ・中東は眼科検査(32%)。

■2007-08年度会則地域別アクティビティトップ5

●ヨーロッパ

事業	割合
高齢者支援	41%
文化/芸術	28%
奨学金	26%
青少年レクリエーション/スポーツ	23%
眼鏡収集	22%

●東洋・東南アジア

事業	割合
献血	72%
地域清掃	54%
青少年レクリエーション/スポーツ	50%
災害救援	50%
アイバンク	37%
青少年交換	35%

●カナダ

事業	割合
高齢者支援	47%
眼鏡収集	44%
奨学金	38%
補助犬	36%
レクリエーション/スポーツ	36%

●アメリカ及びその周辺

事業	割合
眼鏡収集	58%
奨学金	38%
高齢者支援	37%
眼科検査	37%
補助犬	29%

●インド・南アジア・アフリカ・中東

事業	割合
眼科検査	32%
アイ・キャンプ	32%
植樹	30%
高齢者支援	26%
献血	24%

●大洋州及びその周辺

事業	割合
高齢者支援	61%
がん	42%
レクリエーション	40%
地域清掃	30%
眼鏡収集	30%
青少年レクリエーション/スポーツ	30%

●中南米・メキシコ・カリブ海諸島

事業	割合
高齢者支援	56%
眼科検査	37%
市民	34%
レクリエーション	29%
国際平和ポスター・コンテスト	26%

『ライオン』誌版
ライオンズ検定
●第11回

〈第1問〉LCIFは○○主義的なプロジェクトに資金を交付している。
a 博愛　b 人道
c 民主

〈第2問〉LCIFへの献金のうち、交付金として支給されるのは○○%。
a 60　b 80
c 100

〈第3問〉一般援助交付金の上限は○○ドル。
a 7万5千
b 8万5千
c 9万5千

〈第4問〉○○交付金は、先進国のクラブと発展途上国のクラブが共同で行う事業に交付。
a 国際協力
b 国際援助
c 国際協調

〈第5問〉緊急援助金は災害被災地での援助活動を支援するため、○○の申請により1万ドルを上限に交付。
a 会員　b クラブ
c 地区

〈第6問〉100万ドルを上限とする大災害援助金は、○○をきっかけに新設された。
a 阪神大震災
b 南アジア津波
c 中国四川大地震

〈第7問〉CSFⅡで集まった資金を使用するのは○○交付金。
a 一般援助
b 四大交付金
c 視力ファースト

〈第8問〉四大交付金プログラムの一つ、オープニング・アイズが実施されるスポーツ大会は?
a スペシャルオリンピックス
b パラリンピック
c オリンピック

★正解7問以上でA級、4～6問でB級、3問以下はC級に認定します。

★正解は30ページに掲載。

1月承認の視力ファースト、ライオンズクエストへの交付金

1月に開催された視力ファースト諮問委員会で11件、総額135万5558ドルの視力ファースト交付金が承認された。ケニア、バングラデシュ、インド、ネパール、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、サモア、タイの9カ国で、眼科医療施設の改良、白内障検査及び手術キャンペーン、トラコーマ撲滅プログラム、眼科トレーニングが実施される。

同じく1月開催のライオンズクエスト諮問委員会では7件37万8003ドルの四大交付金が承認された。パナマ、コロンビア、パラグアイ、日本、インド、アメリカの6カ国におけるプログラム実施や導入に対するもので、日本では、336・D地区(島根・山口)に2万5千ドルが交付された。

国際協会公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)のLCIFページに交付金リストが掲載されている。

LIONS ON LOCATION

世界で奉仕するライオンズ（『ライオン』誌本部版より）

南アフリカ・ケープタウン

清掃奉仕で環境意識を育む

首都ケープタウンの市街から50キロ程に位置するパール・イーストの町には、ゴミが散乱している。一方、貧しい家庭の子どもたちはいつも空腹を抱えている。そこでライオンズが考え出したのが「バッグ・ア・バーガー」プロジェクトだ。ライオンズはゴミで汚れた町の一画に、手袋とゴミ袋、そして調理器具を運びこむ。子どもたちは袋にゴミを詰め込んでいっぱいにすると、ライオンズの元へ持って行き、出来たてのハンバーガーと飲み物をもらう。町は奇麗になり、子どもたちはお腹を満たすと同時に、自分たちの生活環境を守る責任を学ぶ。

参加する子どもたちは地域の市民グループが協力して集めてくれる。3歳から12歳までの60～70人で、ライオンズは毎回、150個ぐらいのハンバーガーを調理する。

「日曜日の朝、1時間半から2時間ぐらいで出来る簡単な活動です。少ない時間と労力で、大きな成果が得られます。子どもたちがゴミを捨てるのではなく拾うことを覚え、地域が奇麗に保たれるようになると期待しています」。パール ライオンズクラブのライオン・ジョン・クリフは話す。

このプロジェクトでは行政とも協力しており、行政側が手袋とゴミ袋を提供し、集めたゴミの収集を行っている。

地域のリーダーであるアブラハム・ビーカーさんは、「子どもたちはこの活動が大好きです。地域のために清掃することは教育的な効果が高く、親たちも喜んでいます。この地域の人たちはライオンズクラブに好感を持っていますよ」と言う。

ライオンズは天候の許す限り、毎月この活動を実施している。時には学校と共に活動し、生徒たちで清掃班を組織することもある。

「子どもたちと一緒に働くのは楽しい。そして地域が奇麗になったのを見るのはうれしいものです」とライオン・クリフ。

地中海クルーズを楽しみながらLCIFに貢献

第10回目を迎えるLCIFクルーズが11月7～14日、7泊8日の日程で開催される。発着港はスペイン・バルセロナで、フランス・カンヌ、イタリア・ポルトフィーノ、フィレンツェ、ローマ、ナポリを巡る西地中海クルーズ。ブランデル国際会長が次年度LCIF理事長としてホスト役を務め、参加者は船上で多彩な催しを楽しみながら各国ライオンズと友情を育み、寄港地のライオンズの温かい歓迎を受ける。参加にはクルーズ費用（880～2150ドル）に加え、船室当たり千ドルのMJF献金が必要となる。

クルーズの詳細は公式ウェブサイトのLCIFページ掲載のパンフレットを参照。お問い合わせは協和海外旅行株式会社（TEL03・3816・7971／担当：野口正二郎〈東京関東ライオンズクラブ〉）へ。

会議録

第6回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（12月24日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：大熊泰雄、齊藤實、阿部幸一、矢口武克、八嶌隆、小田邦雄、百田勝彦各議長、清水英徳副議長、後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫各国際理事）

①前回議事要録の確認と議事録署名人による署名②本日の議案確認（緊急議案の有無）③GMT（グローバル会員増強チーム）関係④眼鏡リサイクル・プログラム⑤アルバート・F・ブランデル国際会長公式訪問（西）の日程⑥国際第2副会長立候補者関係⑦OSEALフォーラム関係⑧（議長連絡会議）諮問委員会からの報告事項⑨各種連絡会議・委員会報告

第6回ライオン誌日本語版委員会（1月9日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫各国際理事、渡邊豊隆、坂本和彦、坂井正、小岱義正、大島康男、山根健、塩倉安伸各委員、荘英隆、小柴登司両ITアドバイザー）

①1月号（11万4000部発行）出来②2月号記事内容確認③3月号以降台割（案）と主要記事予定④ウェブサイト関連⑤オンライン報告システムServannA⑥その他

第4回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会（1月15日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：秋庭一富、杉山正夫、高田一男、林孝、竹本實生、加計邦夫、北島建則各委員）

①第3回会議要録の確認②継続協議事項③2008・09年度上半期会計報告書（案）について④総務関係確認事項⑤報告事項⑥その他

第7回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（1月20日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：大熊泰雄、齊藤實、阿部幸一、矢口武克、八嶌隆、小田邦雄、百田勝彦各議長、清水英徳副議長、後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫各国際理事）

①前回議事要録の確認と議事録署名人による署名②本日の議案確認（緊急議案の有無）③第48回OSEALフォーラム（タイ・パタヤ）④GMT（グローバル会員増強チーム）関係⑤国際会長公式訪問（西）の最新情報⑥若手会員フォーラム（ライオン誌日本語版委員会主催）⑦各種連絡会議・委員会報告⑧その他

第4回複合地区国際大会委員長連絡会議（1月21日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：神田信男、古谷野環、佐々木貞夫、糸井久夫、滝澤巖、奥村啓二、三谷智省、瀧榮司各委員長、栢森新治国際理事、不老安正国際理事候補者、松本幸則337複合地区国際理事候補者支援委員、ソムサクディ・ロヴィス第48回OSEALフォーラム委員長）

①第92回ミネアポリス国際大会②第48回東洋・東南アジア・フォーラム（パタヤ）

新結成クラブ

兵庫県・光都ハーモニー（北村洋子会長）▼11月30日結成▼スポンサー／赤穂

訃報

■**元国際役員**

ライオン海沼昭（山梨県・甲府中央）

1月2日死去、81歳。91年度330複合地区ガバナー協議会議長、330・B地区ガバナー。

ライオン奥山亨吉（山形県・天童）

1月7日死去、103歳。84年度332・E地区ガバナー。

■**献眼者**

2008年11月＝ライオン近藤昭二（広島県・三次）／2009年1月＝ライオン海沼昭（山梨県・甲府中央）

ライオンズ検定●第11回の回答

第1問・b／第2問・c／第3問・a／第4問・b／第5問・c／第6問・a／第7問・c／第8問・a

●解説を『ライオン』誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「今月のライオン誌」コーナーに掲載中

330～333複合地区（東日本）担当
GMTリーダー
後藤忍

今年度から3年間にわたって継続的に会員増強に取り組む「グローバル会員増強チーム(GMT)」。複合地区、地区とのチームワークで、会員増強の目標達成をサポートするGMTリーダー2人に、それぞれ隔月で、チームの動向や担当エリアの会員増強の成功事例などを伝えてもらう。

昨年7月から12月まで上半期における世界の会員数とエクステンションの実績が集計され、1月15日と16日、国際本部のあるアメリカ・イリノイ州オークブルックで第2回GMT会議が開催されました。ちょうどアメリカ全土が16年ぶりという大寒波に見舞われ、日中でも気温がマイナス20度と、寒さに慣れたシカゴ市民も震え上がっておりました。特に16日朝はマイナス30度まで下がり、会議場まで徒歩で外出した際には顔の皮膚が痛み、呼吸が苦しくなる程で、世界の異常気象を肌で感じ取った次第です。

1日目の会議は世界から集まったGMTリーダー41人による担当地域の状況と成功や失敗例等のプレゼンテーションが行われました。私の担当する東日本については、330・A地区と330・B地区のMERLチームがリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンと共に早くから活動をした結果、会員増強に成功した事例を取り上げ、発表のテーマと致しました。

2日目は各国の進捗状況の分析に入り、世界同時不況の影響が大きいと考えられるアメリカ、カナダ、ヨーロッパはさすがに減少していましたが、全体ではインド・南アジア・アフリカ・中東と東洋・東南アジアの努力で2399人の増加となっております。その中で特に注目されるのは、家族会員を含む女性会員の増加で、世界のほぼ全地域で大幅な飛躍となっていることです。午後から行われた会則地域ごとのディスカッションでは、会員増強とエクステンションに成功した国から「変化への対応と新しいプログラムへの認識が活性化の鍵である」と提言されていたのが印象的でした。

日本の会員数は本誌の巻末に載っていますが、毎年の傾向として年度末6月には大量の退会者が出ており、このままでは今期末もマイナスが予測されます。私たち日本のGMTリーダーはこれらを日本全体の問題としてとらえ、地区ガバナーとMERLチームと共に各クラブをサポートして参ります。また、『ライオン』誌と協働で増強と維持プログラムに対する情報を伝えていく考えです。会員増強の方針は、国際会長が唱えるからだけではありません。自分の所属するクラブを維持し、活性化するための方策です。今期のクラブ会長を始めリーダーの皆様が、会員増強と維持の可能性を最後まで追求していかれることを期待しております。

●会則地域別会員数（2009年1月／国際協会集計）

会則地域	会員数	男性会員(年間増減)		女性会員(年間増減)		年間増減
アメリカ及びその周辺	380,902	291,397	(-5,530)	89,505	(+338)	-5,192
カナダ	39,359	30,310	(-758)	9,049	(-44)	-802
中南米・メキシコ・カリブ海諸島	91,661	60,536	(-836)	31,125	(+307)	-529
ヨーロッパ	269,788	224,954	(-2,074)	44,834	(+134)	-1,940
東洋・東南アジア	261,405	222,389	(+288)	39,016	(+1,751)	+2,039
インド・南アジア・アフリカ・中東	222,249	185,203	(+6,080)	37,046	(+2,838)	+8,918
大洋州及びその周辺	42,673	31,304	(-268)	11,369	(+173)	-95
合計	1,308,037	1,046,093	(-3,098)	261,944	(+5,497)	+2,399

小さな村に、新たな暮らしをもたらしたライオンズ

LCIFファイル

タイの小さな村、ボルサリーで学校の校長を務めるマヌーン・ポタワン氏は、おなかを空かせ、無気力に登校する生徒の姿を思い出す。彼らがこうなった原因は、米に偏った食事と不衛生な水であった。

「残念ながら、生徒たちの発育は非常に遅れていました」

とポタワン氏は話す。

しかし、ライオンズの活動により状況は一変した。

タイのチェンマイ ライオンズクラブはボルサリー村の村長に、食生活と水環境の改善を促した。村はこれを受け入れ、子どもたちの健康を守るため、タンパク源となる魚の養殖と、さまざまな種類の野菜や果物の栽培に取りかかった。

一方、チェンマイ ライオンズクラブは、かんがい用の池を建設し、雨期の大洪水に対応出来る環境を整えた。半年以上続く乾期には、その水が飲料用や家庭用水に利用される。

ボルサリー村の変化はこの池から始まった。

医療体制も改善された。地区の病院は、ボルサリー村の生徒全員に健康診断を予定している。

教育環境も変化した。週末には、アメリカ平和部隊による英語教育が行われるようになり、オハイオ州の学区からは、村の学校との提携についても問い合わせが来ている。今では高速インターネットも使用出来る。オハイオ州のライオンジョン・トロスによると、シンシナティ・ウエスタン・ヒルズライオンズクラブはチェンマイのスリビチャイライオンズクラブと姉妹提携を結んだということだ。

一方、チェンマイ大学も教育援助を開始し、生徒の学力検査の進捗をプレゼンテーションする予定である。国連地球環境ファシリティーは、ボルサリー村を「ライオンズのモデル村」と見なし、遠隔地農村指導の模範として位置づける考えだ。

ボルサリー村の変貌はオハイオ州のライオンズクラブやLCIFの国際援助交付金、企業パートナーの支援のたまものである。ライオンズの活動は、言語・距離・文化の垣根を超え、世界中の子どもたちにチャンスを与え続ける。

「チェンマイ ライオンズクラブとLCIFのおかげで、私たちはより良い生活環境を手にし、子どもたちに希望が生まれました」

と話すのはボルサリー村の指導者で、母親でもあるノンヌチ・シリルットさん。

「私たちは自分たちの村を誇りに思います。そして、私たちが得ることが出来たこの幸せを、タイの多くの人々にも分かち合いたいと思っています」

LCIF
LIONS CLUBS INTERNATIONAL FOUNDATION

ライオンズによって建設されたかんがい用池。雨季には多くの水を蓄える

SightFirst Update

糖尿病に焦点を当てた ライオンズ世界視力デー

糖尿病に伴う視力低下は、ますます由々しき問題となっている。この脅威は特にネイティブ・アメリカンやヒスパニック系の人にとっては深刻である。

「糖尿病は特に南西部における数多くのネイティブ・アメリカンの間で蔓延しており、またヒスパニック系の人の罹患率も非常に高いのです。だから私たちはアメリカで、視力及び糖尿病の検査の必要性に焦点を当てて取り組んでいるのです」

アルバート・ブランデル国際会長はこう話す。

ライオンズは10月にアリゾナ州にあるナバホ族居留地で、ライオンズ世界視力デーを開催した。アリゾナ州及びニューメキシコ州のライオンズ眼科検診車は、ナバホ族居留地の首都であるウインドウ・ロックまで移動した。この二つの州のライオンズ、そしてライオンズ・アリゾナ視力センターの職員は、500人の成人、児童を対象に検診を行った。

「失明は世界的な問題です。アメリカにさえも、視力を失う恐れがある人々のグループがあります。視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）で集めた資金を活用して、視力への脅威として浮上する糖尿病性眼病などに対処することが出来るのです」

とブランデル国際会長は話す。

LCIFが国立眼科研究所と協力して行った最近の調査によると、成人のネイティブ・アメリカンが糖尿病に罹る可能性は、白人に比べて2・2倍高く、また糖尿病を患う若いネイティブ・アメリカンも急激に増加している。南西部の約27％のネイティブ・アメリカンは糖尿病であると報告されており、これは他の人種のグループよりもはるかに高い比率である。

ライオンズ世界視力デーにナバホ族居留地で患者を診察する、アル・ブランデル国際会長夫妻とDr.モーリーン・マーフィー

また世界視力デーには、ライオンズ視力センターで糖尿病検査を実施、そしてアリゾナ大学眼科部の協力の下、高齢者を対象に緑内障検査を行った。LCIFは、これらの検査を支援するために視力ファースト交付金を拠出した。

世界のライオンズクラブは10月中にそれぞれの地域で活動を実施し、失明を克服する必要性や視力の保護について地域住民を対象とした教育を行った。アラスカ州ジュノーのライオンズはジュノー学区の協力を得て、眼鏡リサイクル・コンテストを主催した。優勝したクラスはピザ・パーティーに参加し、集められた眼鏡はすべて北極にあるライオンズ・アラスカ・リサイクル・センターに送られた。

307・A地区（インドネシア）のライオンズは、ジョンソン・アンド・ジョンソンと協力して、「児童に視力を」の視力検査を開催した。この検診には、ジャカルタ内のすべてのライオンズクラブが参加し、4740人の児童を対象に検査を行った。コスタリカのモラビア ライオンズクラブは公民館、教会や学校で、420人の検査を行った。彼らはまた全国テレビやラジオで検査に関する情報を流した。ブラジルでは、フォトゥポランガ ライオンズクラブが100人を対象とした視力検査を実施、アラカジュ・ノバ・ジェラサオ ライオンズクラブは中学校にアイケア治療に関する冊子を1万冊配布し、また白内障についてのパワーポイントのプレゼンテーション資料を作成し、インターネットに掲載した。

ライオンズは、2009年10月中に世界視力デーに向けて、催しを実施するように奨励されている。今年は女性を対象にしたアイヘルスがテーマとなる。

静岡県・富士吉原ライオンズクラブ

ベトナムスタディツアー

富士吉原ライオンズクラブ（秋山勝勇会長／80人）は12月20日から8日間の日程で、第2回ベトナムスタディツアーを実施。女子高校生5人をベトナム・ハノイ市及び周辺地域へ派遣した。豊かな時代と国に育った日本の若者が、成長過程にある国を見、日本の国際貢献の現場と、そこにかかわる多くの日本人とベトナム人に接したのである。

ベトナムを訪問先に選んだのは、10年程前からYE事業として、国際協力機構（JICA）、ベトナム日本人材協力センター主催のハノイ日本語スピーチ・コンテストを後援し、今までに9人の優勝者を日本に招待するなど、関係者らと密な交流を続けていたからだ。スタディツアーではその功績が大きな後押しとなった。

参加者は北部少数民族のモーハイ村にホームステイし、村民の温かいもてなしを受けながらも、食、住の違いにとまどい、生活の原点を学んだ。JICA関連では、地方基幹病院の保健医療強化プロジェクトや小学校教育、農業支援で活躍する職員、そして青年海外協力隊員と懇談。小学校では授業に参加した。

これらの経験は彼女らの将来にも影響する大きな刺激となったはずである。更に、かつての来日YE生であるベトナム人文社会科学大学准教授が教える学生たちとの意見交換など、新たな交流の芽も感じられた。

日本では考えられない現実にも触れ、「人と人とのつながりは国際交流の原点」であることを日本の若者に理解してもらえた、有意義な事業であったと確信している。

（団長、幹事／鈴木澄美）

茨城県・取手大利根ライオンズクラブ

新春恒例行事「とりで利根川七福神歩こう会」

1月9日、茨城県取手市で「とりで利根川七福神歩こう会」が開催された。新春の恒例行事として、毎年、取手大利根ライオンズクラブ(榊義行会長/46人)が主催しているもの。21回目を迎えた今年は、取手市周辺に住む老若男女約450人が参加した。

七福神巡りは江戸時代、正月に七福神が祀られている神社やお寺を巡り、1年の福を授かろうと広まった。が、取手の七福神はかなり新しい。町おこしとして、取手大利根ライオンズクラブが企画したことに端を発する。

当初はさほど多くなかった参加者だが、今では平均して600～700人、多い年では千人の参加がある。また参加者だけでなく、知名度も年々アップ。正月の歩こう会に限らず、七福神目当てに取手を訪れ散策する人も少なくない。2006年にはJR東日本が企画した「駅からハイキング」のコースに選ばれ、2千人近い人が参加している。

歩こう会の当日は朝8時半に受け付け開始。注意事項の説明をした後、およそ50人ごとのグループに分かれ、9時にスタート。それぞれのグループには先導と最後尾に取手大利根ライオンズクラブ会員が付き、約12キロのコースを歩く。要所要所にはボーイスカウト取手第3団の団員たちが立ち交通整理を担当。また取手市共同病院の協力で2人の看護師が車で巡回するなど、受け入れ体制も万全を期している。

歩こう会の参加費は300円。クラブではそれをプールして、ある程度金額がまとまった時点で社会福祉などの事業に使っている。(取材/鈴木秀晃)

終点の福永寺では取手ライオンズクラブライオネス支部(元取手ライオネスクラブ)の協力を得て、参加者に温かい味噌汁や揚げたてのコロッケ、餅などを配った

熊本県・荒尾ライオンズクラブ

女性のアイデアを採り入れ例会を活性化

49年目を迎えた荒尾ライオンズクラブ（中崎征一会長／62人）の例会が楽しい。プログラムは開会ゴングに始まり、国旗に敬礼、国歌斉唱、ライオンズクラブの歌、ライオンと呼ばるる人朗読、会長あいさつと続く。ここまでは型通りだが、この後「握手タイム」が設定されている。出席者が一斉に席を立ち、会場を自由に動いて握手、握手、また握手。「スキンシップでふれあいの輪」の会長スローガンを体現したプログラムで、ここで一気に座が和む。

その後、協議事項、各種報告事項があり食事に移るのだが、ここでもまた、とっておきの飛び道具が用意されている。オリジナルの健康体操だ。藤山みどり幹事がエアロビクスのスペシャリストであることから、ライオンズクラブの歌に合わせて振り付けを考えてもらい、メタボ予防として採り入れた。指導は藤山幹事のお嬢さんで、健康体操講師のライオン小林しのぶが担当。

握手タイムもそうだが、この健康体操は参加者の緊張をほぐしコミュニケーションを円滑にする活動、いわゆるアイスブレイクとしての効果がある。健康体操で真剣モードが和やかモードへ切り替わり、非常に楽しい雰囲気で食事に入ることが出来る。

実は今年度、同クラブの5役は中崎会長を除いて全員女性。そこで会長は女性の感性を生かし例会スタイルを一変させることを計画。従来は会長経験者が前方に座り、若手は後方と固定化していた例会の席も、抽選に変えてシャッフルした。こうしたアイデアは女性役員から出され、会長は会員の理解を得ながら、それを実現させてきた。これには伊藤智章元地区ガバナーの支持も大きかったようだが、ゾーン・チェアパーソンを経験し、2度目の会長を務める「ライオンズ大好き」会長の思いが、全会員に通じたからだろう。

伝統あるクラブが、節目の50周年を前に大きく変貌を遂げ、クラブ全体の活性化を果たした。変える勇気を持つことも大事である。（取材／鈴木秀晃）

兵庫県・福崎サルビア ライオンズクラブ

初めてのライオンズクエスト事業

朝8時。姫路市立中寺小学校。「全職員が、出てきております」と、森成美校長先生。すごい。今日は冬休み初日のはず。しかも前日は先生方の忘年会だったのでは？　「これがあるので忘年会は早くに済ませました」とのこと。

12月25、26日、私たち福崎サルビア ライオンズクラブ（梶浦禧子会長／19人）が初めてのライオンズクエスト・ワークショップを開催した日のことである。メンバーも少ない中、「地域に密着した女性らしい、きめ細やかな手作り奉仕を」と心掛けている私たちにとって、こんなにうれしい瞬間はない。地道な活動も少しは浸透しつつあるのかな、と、とてもいい気持ちになった。

ワークショップではみっちり丸2日間、模擬授業も含め、プログラムを実施するための学習が続く。若い先生方はまだ余力があるが、参加したウチのメンバーなどは目がしょぼしょぼ。

終了後、先生方からはいろいろな感想が出た。「自分もこういう教育を受けた教師に教えてもらいたかった」「現場で役立ちそうなことがたくさんあった」「今日の気づきを今後に生かしていきたい」「自分の子どもにも活用したい」など。中には人前で話すのが苦手という先生もいらしたが、プログラムを学んで少し改善されたよう。教師の側にも変化をもたらすプログラムなのだと実感した。

（PR・IT委員長／小幡敬子）

334-D地区第2リジョン（富山県）

お見合いパーティーで4組のカップル誕生

イラスト／篠田和夫

334・D地区第2リジョン（野村謹吉リジョン・チェアパーソン）は少子化対策と未婚男女の結婚促進のため、出会いパーティー「MEET TOGETHER '08」を、「いい夫婦」にちなんだ11月22日に開催した。

昭和50年代以降、我が国では未婚率の上昇や晩婚化、出生率の低下で子どもの数が減り続けている。国のデータでは、100年後には日本の人口は現在の4割にまで減ると聞き、危機感を募らせた。そこで、結婚促進も奉仕活動と、お見合いパーティーを企画したのである。

9月からメンバー企業の従業員を中心に募集開始するも、目標の男女50組がなかなか集まらない。お流れも心配されたが、各クラブ会長に再三督促、土壇場で10組オーバーとなった。

当日は、60脚のいすを向かい合わせて大きな楕円形に並べ、女性陣は固定席、男性が1分間で自己紹介をして横に移動。気が合えば相手番号をメモして後で投票する仕組み。120人の大見合いパーティーが進行していく様は実に壮観でスリル満点だ。

食事の時間も○×ゲームやビンゴで盛り上げる一方で、スタッフは集めた投票用紙の番号チェックに大わらわ。ベストドレッサー賞やゲーム景品の3ゾーン・クラブ会長賞も用意した。

フィナーレにはこの日誕生した4組8人のカップルにお祝いのレイを掛け、近い将来の結婚を祈念して私のあいさつで終了した。（第2リジョン第3ゾーン・ゾーン・チェアパーソン／岸一雄）

熊本県・肥後黎明ライオンズクラブ

全日本グランドソフトボール大会を支援

肥後黎明ライオンズクラブ(有働昭臣会長/20人)は2006年1月に結成した平均年齢45歳のクラブ。チャーター・ナイトの記念事業から取り組んでいる熊本県視覚連グランドソフトボール(GSB)協会への協力は、親クラブから紹介を受けたもので、以来、顧問として金銭・労力を注いでいる。この間、GSBのルールを学び練習試合に参加して、盲人の方々との絆を育んできた。

昨年は同協会が第9回全日本GSB選手権大会を誘致。我がクラブも準備委員会から携わり、11月1～3日、中国・九州の代表6チームが参加して「火の国杯GSB大会」が開催された。

我々はボランティアの代表として発憤。1日目の午前は会場準備。夕方からの開会式・レセプションでは、余興の火の国おてもやん総踊りで皆が輪になって踊り、大いに盛り上がった。2日目の予選、3日目の決勝リーグでは、1コートごとにボランティア10人をはりつけて試合の経過を見守った。

表彰、閉会式まで無事に終え、後片づけも済ませると役員らの締めの会。主催者である全日本GSB連盟の大橋会長には「ボランティアの活躍があって大成功を収められた」と感謝され、握手を求められた。「盲人の騎士たれ」というヘレン・ケラーの言葉に沿って少しは貢献出来たかとうれしく思った。

(IT委員/渡邉秀明)

宮城県・仙台東ライオンズクラブ

仙台光のページェントへご招待

クリスマスには児童養護施設の子どもたちを、仙台の冬の風物詩、光のページェントへ招待している。会員の肩車に乗せたり手をつないで1キロ程の光のトンネルを散策する。会員にまとわり付いたりはしゃいだり、手をつなぎたがる子どもらに、先生方への態度とは違う一面を見て、やって良かったと実感する。また、点灯の瞬間の子どもたちの「うわーっ」という歓声と笑顔。ただこれ見たさに、毎年開催するのだとも思う。

散策の後はイベント会場の一角を借りてパーティー。プレゼントを贈ったり皆で合唱したりする。

クラブの願いは一人ひとりの子が、自身を大切にして育ってくれること。だから形のないプレゼント、音楽も贈る。高校生以下の子どもたちによる演奏。通りすがりの子どもたちも参加出来るようにしている。いろいろな世界があることを知り、思春期を迎え―やがて成人し―家庭を持ち……、そのプロセスのどこかで思い出し、「僕もがんばろう」と思ってもらえたら。

パーティーを終えて園に帰った子どもたちを待つのは、クラブが贈ったクリスマス・ケーキと料理。きっとそれらを食べながら、今宵ひと時の話に花を咲かせるだろう。

息長く、かつ時宜を得た活動を行うことが使命だと仙台東ライオンズクラブ(氏家裕一会長/17人)は考えている。日頃から諸メディアを通じ、ポリシーを持って広報を心掛けている。青少年に働き掛ける工夫には労を惜しまない。子どもたちの直接的な反応が更に私たちを駆り立てる。会員と活動先がメビウスの帯構造を成している点が当クラブの特徴である。(事務局/草野祐子)

兵庫県・明石西ライオンズクラブ

知的障害者施設へ甘〜いみかんをお届け

明石西ライオンズクラブ（細目友紀夫会長／22人）は昨年に引き続き、知的障害者通所施設「木の根学園」の園生をクラブ会員が所有するみかん園に招待し、みかん狩りを楽しんでもらおうと企画した。検討を重ねる中で特に慎重を期したのは、天候の問題である。みかん園は傾斜が急で、雨天の場合は特に、足元の状態等の安全面を十二分に考慮した準備が必須となる。

当日の12月9日、天気予報に反して午前中は晴れ間ものぞく空模様。ひとまず胸をなで下ろし、園生が到着する1時半には準備万端で迎えられるよう、ハサミ等の道具チェックに精を出す。

ところが徐々に雲行きが怪しくなり、とうとう1時には雨粒が落ちだした。

急きょ予定を変更。我々がみかんを収穫し、学園に届ける手はずとなった。会員は、大きく、見た目にも甘いと分かる実を鈴生りに付けた樹の枝へ、丁寧にハサミを入れていく。もちろん味見も忘れない。

1時間後、収穫した800個のみかんを全員でお届けに上がることが出来た。園生はもとより、職員の方々もその粒の大きさと艶の良さに目を丸くし、驚きと感嘆の声で少しの間騒然となった。

自分たちで収穫出来れば喜びもおいしさも倍増であったとは思うが、彼らの笑顔を見て、我々の「おいしいみかんをお届けしたい！」という思いが確実に伝わっていると実感した。みかんのように、ほんのり甘い体験となった。

（PR委員長／山西治）

鹿児島県・大口菱刈ライオンズクラブ

ライオンの一念、国をも動かす

ゴルフ場にて帽子とサングラス、葉巻を吸う風貌はまさしく和製ジャン・ギャバン。大口菱刈ライオンズクラブ（47人）のチャーター・メンバー、故ライオン寺田宰は、病院理事長として地域医療発展にも大きく貢献、後輩会員の模範となるすばらしいライオンだった。

鹿児島県伊佐市と熊本県人吉市を結ぶ国道267号線の「久七トンネル開通」は、生前、ライオン寺田の念願であった。両市の間には久七峠と呼ばれる厳しい山道があり、道幅も狭く常に危険と隣り合わせ。また「鹿児島県の北海道」と言われる程、冬場は積雪、凍結で不通になることもしばしばで、魔の国道として恐れられていた。

が、地域住民の生活に欠かすことは出来ない道。ライオン寺田は多くの私財と時間を費やし、トンネルの必要性を国に訴え続けた。そしてついに平成10年7月に着工、16年4月、晴れて両市は4千メートルの長いトンネルで結ばれた。しかし、残念ながらライオン寺田は開通2年前の14年4月、永眠されたのである。

そこで私たちはクラブ結成45周年事業として、ライオン寺田の功績をたたえ顕彰碑を建立することにした。地域住民からも寄付を頂いた。除幕式には寺田家、小里貞利元国務大臣他、多数の来賓が出席。ライオン寺田も天国で「ウィ・サーブ！」と声高らかに叫んで喜ばれているだろう。

当クラブには他にも「おぎゃー献金」創始者の故・遠矢善栄元地区ガバナー、「臍帯血バンク」設立に尽力された水間良信元地区ガバナー等がいる。我々も先輩方の英知を拝借し前進を続けていきたい。

（会長／大橋晋）

広島県・福山葦陽ライオンズクラブ

福山城映像ライトアップ2008

福山葦陽ライオンズクラブ（64人）は07年、45周年記念事業として、福山のシンボル・福山城にさまざまなアート映像をライトアップするという試みを行った。予想以上の反響を呼び、市の観光資源になり得ると確信。一過性のものにしたくないとの思いから、08年11月3日の文化の日、「映像ライトアップ2008」を開催した。

またプレイベントとして、お城見茶会に地元の留学生やお世話になっている方々を招待した。

周年事業ではないので予算も限られ、実現までには担当委員長を中心に大変な苦労があった。しかしそれがかえって創意工夫を生み、運営、映像、音声、照明もすべて会員の手で行って結束力を高め、大きな達成感を味わうことが出来た。前年以上の反響があってマスコミでも大きく取り上げられ、特に毎日新聞では翌日朝刊の一面中央にカラー写真で紹介された。

今回は地元小学校の子どもたちの絵を映像の素材として使用。これも大変好評で、今年2月には同小学校でこれを映写してほしいと要請を頂いた。児童画教育にも役立てたのではないだろうか。

このイベントが福山の文化、観光振興に資することが出来、またライオンズクラブの活動と理念を多くの人々にPR出来たことを誇りに思っている。

（会長／的井善美）

富山県・高岡志貴野ライオンズクラブ

人々を巻き込む奉仕活動

『ライオン』誌12月号「ライオンズはじめて物語」の中に、「協会の名称をライオンズではなくボーテックス（人々を巻き込む）にしたらどうかという提案がなされた」という一節があった。まさに我が高岡志貴野ライオンズクラブ（61人）の特徴を言い得ている。自慢の活動を紹介したい。

●本年度のスタートとなった横田小学校でのビオトープ製作は、児童、PTAはもちろん自治会の人々も巻き込んだ。

●1700人を超すブラジル人が住む高岡市ならではの国際交流ということで、サンバチーム「しきのソル・ナンテ」を結成。県から「とやま草の根国際交流賞」を受賞。これを原動力に「ブラジル移民100周年」の記念イベントを開催。県、市、JA等、多くの人々が力を合わせた。

●下関小学校児童クラブの皆さんとユニセフ募金の意義をビデオで勉強、募金を実施した。

●隣接する氷見市在住の松原大樹君（19歳）の心臓移植費用調達のために、地域を上げて募金活動。地元小学校の子どもたちに千羽鶴をお願いしたところ浄財も募ってくれた。

●知的障害者更生施設「県立新生園」のみんなとサツマイモを植えて収穫。肉や野菜を持ち寄っての「ぼくらのナベ祭り」では、JA高岡、県立高岡ろう学校、民謡の会の皆さんも参加し大勢で大いに盛り上がった。

他にも周囲を巻き込むさまざまな活動をしている。これらが大きな渦となって世界の輪に広がるのではないだろうか。詳しくはこれまた自慢の当クラブ・ホームページ(www.lions-takaoka.org/shikino/) をご覧頂きたい。

（会長／水持隆繁）

東京掘留、茨城県・水戸、水戸葵、各クラブ

薬物乱用防止キャンペーン・ジャズコンサート

東京掘留（青山貞夫会長／22人）、水戸（石川道雄会長／57人）、水戸葵（深作律夫会長／70人）の3クラブは9月25日、茨城県県民文化センターで青少年健全育成のための薬物乱用防止キャンペーン・ジャズコンサート「原信夫とシャープス＆フラッツ in MITO」を開催した。茨城県及び水戸市の教育委員会や茨城県薬物乱用防止指導委員会、NHK水戸放送を始めメディア各局が後援。市内の小中学生約400人を招待し、一般市民を合わせ約1400人が参加する盛会となった。

西村侃一郎執行委員長（東京掘留）の趣旨説明とあいさつに続き、ライオン白石正義（水戸葵）が講師となり「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」の講演。薬物乱用がもたらす害、中枢神経に及ぼす回復不可能な障害、自然再燃現象（フラッシュ・バック）、また、乱用のきっかけや甘い勧誘の例、「ノー」と言うコツについて具体的な説明をした。更にビデオで薬物の種類や怖さなどを強く印象付けた。

ジャズコンサートは、原信夫とシャープス＆フラッツが結成57年を経た熟練の技で、デキシーランド・ジャズからブルース、日本のヒット曲と多彩な曲をダイナミックに演奏。会場を魅了した。

参加者一同、感動と薬物乱用防止の決意を胸にした1日となった。

（水戸ライオンズクラブ／渡辺輝德）

岐阜県・各務原飛鳥ライオンズクラブ

小学校で薬物乱用防止教育

近頃新聞、テレビ等で、学生の薬物乱用の報道が後を絶たない。そこで各務原飛鳥ライオンズクラブ（村瀬吉保会長／30人）は、私が薬物乱用防止教育認定講座の資格を取得したこともあり、私の母校である各務原市立各務小学校で薬物乱用防止教室を開くことにした。対象は6年生約50人。初めての試みで戸惑うこともあったが、学校の先生や各務原警察署にご協力頂き、薬物の知識や乱用の恐ろしさについて、ビデオも使って講義を行った。警察官は薬物の見本を見せてくださった。薬物に侵された脳は元に戻らない。薬物には依存症、耐性、禁断症状があるだけでなく、健康な体もボロボロにし一生を台無しにしてしまう。挙句の果てに重大な犯罪を犯してしまうかもしれない。

子どもたちは真剣で、おしゃべりする生徒は一人もいない。講義後には「薬物は何種類ありますか?」「誰がどんな目的で作るのですか?」などの質問も出た。

数日後、子どもたちの感想文が届いた。「脳や体が壊れていくことや、止めようと思っても止められないことが怖い」「自分が使わないだけでなく、周りにも薬物を使う人がいたら注意する」「大人になってからでなく、今のうちから麻薬のことを教えてもらえてよかった」「簡単に誘いに乗ってはいけない」等々。

たった1時間程の防止教室だったが、子どもたちのこれからの長い人生に役に立てたかと思うと充実感が湧いてきて、またどこかで実施したいと思った。

（会員理事／澤井安直）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領→56ページ

親睦委員会

永岡 栄子（島根県・浜田マリン）

身も心もうだりそうな暑さの続いた8月中旬、激しい雨音で目が覚めました。ふと頭に浮かんだのは、6月20日に植えたサツマ芋と落花生のことでした。久しぶりの雨で行水をして喜んでいるだろうなと。

浜田マリン ライオンズクラブでは2008年度から、親睦委員会を設けました。例会、理事会、委員会、奉仕活動だけでなく、みんなでお喋りしたり歌ったり、楽しい時間を持ち、もっとお互いを理解し、認め合うことが出来たら最高のクラブになるだろう。また、そうすることによって会員増強もやりやすく、退会も無くなるのでは、と考えたからです。

理事会、例会で承認され、委員長、副委員長も決まり早速始動です。初仕事は会長さん所有の畑を借り、サツマ芋と落花生を植えることになりました。気の早い委員長は、「収穫したら施設に持って行くんだ。焼き芋パーティーをするんだ」と張り切っています。捕らぬ狸の皮算用です。でもみんな調子を合わせ盛り上がっています。こんな雰囲気は最高です。

6月20日現地集合と決まりましたが、心配なのは雨です。当日は、前日の予報通り雨でした。でも、迎えに来てくださった会員の車に乗せてもらい、畑に急ぎました。

現地近くまで行くと、マリン農園と書かれた看板が両手を広げて待っていてくれました。委員長が作ったものでした。さすが委員長、気配りに感動です。

雨の中、次々と会員が集まって来ます。参加メンバーを紹介します。歌ならお任せの委員長、真面目で正直者の歯医者さん、2007年度の会長さん、やる気満々の2008年度幹事さん、来世の浄土でなく、現世の生き方を指導する住職さん、学校にお勤めのお忙しい美人さん、病気を理由に怠け者の私。この7人です。

出陣前の皆さんは雨カッパに長靴、首にはタオル、クワを杖に軒下に並び、雨の止むのを待っています。待つ時間も退屈しませんでした。手前に見える山々は雨に洗われ緑は鮮やか、遠くの山々は霞がかって、まるで水墨画のようです。裏山からは鶯の声に合わせる名も知らぬいろいろな小鳥たちのハーモニーがすばらしく、時間のたつのも忘れていました。

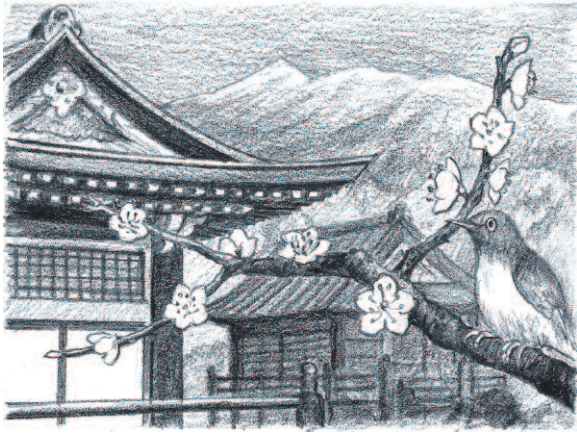
待つこと1時間、小降りになりました。さあスタート。畑は昨夜からの雨でベチョベチョです。この状態で土を踏みつけるのは良くないと言われ、残念ながら仮植えだけして引き上げました。

少し早い時間でしたが、お弁当も用意していましたので、一緒に食事することになりました。それぞれ持ち寄ったおやつが、大きなテーブルを狭くしていました。すべてそろいましたが、会長の姿がありません。しばらくすると雨の中、奇麗に色づいたビワを取って来てくださいました。

イラスト／小川和政

私は、ビワに特別な思いがあります。十数年前、大好きだった兄を亡くした時、裏庭を黄色に染めていたビワ……。

また、習い事のママさんバレーで、常に行動を共にする友がいました。彼女は体が弱く、ここ4、5年は入退院を繰り返す生活でした。

「4月5日に退院出来たので、行ってもいい?」の電話があり、久しぶりに元気な顔が見られると喜びました。その時、彼女がお土産に持って来てくださったのが高価なビワ3箱、イチゴ、大きなシュークリーム15個でした。「こんなにたくさん誰が食べるの?」。そうは言っても、いつものようにコーヒーを沸かし、お喋りし、おいしく頂きました。

ところが、その5日後、大好きだった彼女は永遠に話せぬ人となったのです。

そんな思いが走馬燈のように頭を巡る中、食事が始まりました。アルコール類はありませんが、楽しい話で盛り上がりました。壺を見つけ鑑定団に早変わり。そこにあるものすべてが話題に上り、本当に本当に楽しい親睦委員会の初仕事になりました。ことわざに「雨降って地固まる」とあるように、雨に降られゆっくり食事出来たことは大変良かったです。浜田マリン ライオンズクラブは会員一丸となり、ますます立派なクラブになる前触れのように思え楽しみです。

秋にはたくさん収穫出来ることを信じ、また委員長と同じように楽しい焼き芋パーティーを夢見ています。

奉仕とボランティアの違いは何か

樋口 正洋(群馬県・太田中央)

この人間社会には、奉仕という言葉とボランティアという言葉があります。

我々の属するライオンズクラブは奉仕団体でありますが、中にはボランティア団体と表現する人もいます。このように、私たちは何気なくこの二つの言葉を使っていますが、時には混合して使う場合もあります。

数年前、宮城沖地震が起こった時、テレビのニュースで、

「全国各地からボランティアの人が集まってきました」

と、伝えていました。ここでは、ボランティアという言葉が使われていました。

また、例えば、私たちが朝6時からの町内会の缶拾いに参加したとしましょう。この時、缶拾いから帰ってきて家族や奥様に何と言うでしょうか。

「今日は、町内会の缶拾いの奉仕活動に行ってきたよ」

と、おっしゃるでしょう。ここでは、奉仕という言葉を使います。このように、私たちは社会生活の中で無意識に、この二つの言葉を使い分けているのです。

では、いったいこの奉仕とボランティアの二つの言葉はどのように違うのでしょうか。

人間社会に貢献する、人のためになる、という意味では、この二つは全く同じです。両者とも、世の中をよくするという意味では同じに使われています。では、本当にどこが違うのでしょうか。

それは、ボランティアという活動は、その人の自由意志で行われるということです。言い換えれば、強制力が認められないということです。

先程の宮城沖地震の例で、「ボランティアの人が集まってきました」というテレビのニュースは、ボランティアが、それぞれ自由意志で集まってきたことを意味しています。

一方、奉仕というのは、多少の強制力が認められます。本来、奉仕という言葉は、国家に奉る、国家に仕えるという意味がありました。ですから、歴史的にも強制力が認められていました。

例えば、先程の町内会の缶拾いの例で、「缶拾いの奉仕活動に行ってきたよ」というご主人の言葉の裏には、「本当は行きたくないんだけれども、同じ町内会に属しているんだから、しかたなく行ってきたよ」という意味が込められています。ここに自分の意志に反して行動するという、強制があるのです。

ですから、ボランティアというのは、全くの自由意志で行われる活動、奉仕というのは、多少の強制力が認められる活動を言うところに違いが存在するのです。

我々の属しているライオンズクラブは奉仕団体です。決してボランティア団体ではありません。ですから、多少の強制力が認められます。それは、会費納入や、例会出席等が義務になっていることからも分かります。

会費納入が義務ですから、その納入を怠れば、クラブ退会につながることもあります。これは、誰でも納得するところであります。

また、例会出席は義務になっていますが、これは例会が最高の意志決定機関だからであります。しかし、特に用事がないのに例会に出席しない会員も何人かいます。それではライオンズという組織が成り立っていきません。

先程の缶拾いの理論を借りれば、本当は例会に出席したくないかもしれませんが、同じライオンズに属しているのですから、ぜひ、例会には出席してもらいたいものだと思っています。

そうすれば、自然とライオンズのメンバーだという意識が強くなり、ライオンズクラブの組織自体も活性化してくるのだと思います。

いざ津波！ 逃げる？ 逃げない？

上口 義雄（北海道・札幌フロンティア）

ライオンズクラブに入会して、早5年が経過しようとしています。私はもう一つ「いざ津波！ 逃げる？ 逃げない？」というイベントにかかわっています。

きっかけは、２００７年度に受講した北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット[*1]（CoSTEP：コーステップ）です。

コーステップは文部科学省の科学技術振興調整費の新興分野人材養成のプログラムとして05年7月に発足した教育組織で、社会人と大学院生からなる受講生が1年間の教育プログラムで科学技術コミュニケーションの理論と実践的スキルを学びます。08年3月までに約１７０人の修了生（科学技術コミュニケーター）を輩出しており、私もこの中の一人です。

獅子吼

1年間の授業の一環としてプロジェクト実習が行われ、昨年度は「リスクを伝える」というテーマに参加しました。このテーマのリスクとは津波に対するリスクです。

津波防災の分野では、従来から国や地方自治体が中心となって「津波警報に従って避難することの大切さ」を住民に伝える啓発活動が進められてきました。

しかし、そのような啓発活動は、講演会など、科学者側から一般市民側への一方的な情報提供という形式が主流であり、このような形の情報提供だけでなく、専門家が持っている津波のリスクに関する最新情報を、聴衆である住民に「正確に」「過不足なく」伝えることは困難と考えられます。住民からすれば、講演を聴いて「興味深かった」という感想を持つことはあっても、いざという時、防災機関から発表される情報をどのように判断し、具体的にどのような避難行動をとればいいのかよく分からなかったという不満が残ることも多いと聞いています。

05年11月から06年1月にかけて千島列島沖で発生した二つの巨大地震に伴う津波警報発令時の住民の避難率の低さは、具体的な避難行動につながる情報の伝達不足が背景にあるという指摘もなされています。

私たちは、これらの背景の下、近い将来、津波被害が想定されている沿岸地域において「第一線の津波研究者と住民とが直接対話するイベント」を企画し実施しました。

このイベントは、サイエンス・カフェ[*2]の手法を用いて行いました。

具体的には、(a)休日に(b)地域の公民館等を使用して(c)研究者と住民が車座になって(d)質疑応答の時間をたっぷりとる、という形式で行う双方向コミュニケーション・イベントです。私たち修了生は「津波防災情報を分かりやすく理解するためのコンテンツ」や「津波に対する自らの脆弱性（ヴァルネラビリティ）を実感するための住民参加型ワークショップ」などを盛り込みました。

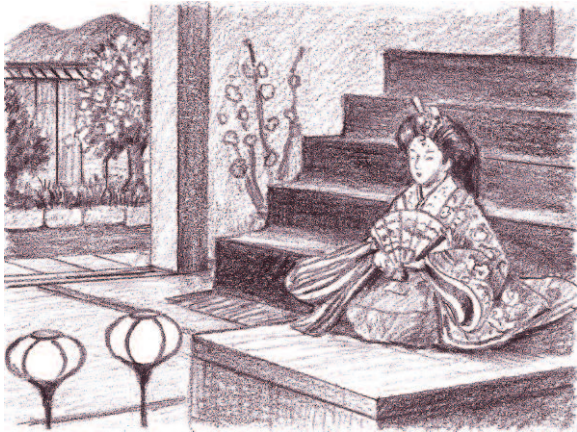
このコンテンツの作成のため、07年8月には神奈川県横須賀市にある独立行政法人港湾空港技術研究所津波防災研究センターに出向き、大規模波動地盤総合水路（いわゆる津波発生実験装置）の実験に参加し、その様子をビデオに納めコンテンツの一つとして利用しています。

これまで、北海道厚岸町門静地区（08年2月）、北海道豊頃町大津地区（08年6月）、北海道別海町尾岱沼地区、本別海地区（08年11月）で開催致しました。

まだ発展途上のこのイベントですが、直接対話による情報伝達手段の効果が確認されたあかつきには、イベントのノウハウやコンテンツを全国の自治体や防災関係者に公表することによって、同様のイベントを各地で手軽に開けるようにすることが私たちの願いです。

◆

＊1：CoSTEP：コーステップ
　本科生と選科生があり、選科生は全国どこからでもe・ラーニングで受講可能です。
http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/

＊2：サイエンス・カフェ
　サイエンス・カフェは1998年にイギリス・リーズで始まった活動とされており、カフェなどの日常空間の中で科学者（専門家）と一般市民（非専門家）が対話するもので、こうした形式の情報伝達は従来型の科学啓発活動に比べて、専門家と非専門家の間の双方向コミュニケーションが実現しやすく、一般市民の知りたい文脈に沿った情報提供がしやすいと評価されています。

国際協会を動かし、世界語を国連にて実行させましょう!!

石原　貫一郎（鹿児島県・国分隼人）

人類が創生して約７００万年来、それぞれの地で部分的に修正されながら現在に至っているのが、世界各国バラバラの言語です。世界の交流は増加の一途なのに、言葉が各国全く違うのは実に不便極まりないと思いませんか。自国語がいちばん良いと思うのは単なる慣れであり、三つ子の時から周りの言葉を覚えてしまい、自国語を変えたくない、自国語がいちばんと思うのは人間のエゴでもあります。宇宙全体から見れば地球の存在は露ほどもありません。

現代科学文化を考えてみますと、先端科学は、ナノテクノロジー（この地球を６センチに凝縮し手のひらに乗る寸法、１メートルの10億分の１）の研究開発の時代です。つまり、話す言葉がそのまま書けて、世界中の誰の筆跡でも判明される時代なのです。議会などで話す言葉をそのまま書く速記法も実用されていますし、外国の言葉をそのまま同時通訳することも行われています。また全世界、人の指紋もすべて違うことから、現在では銀行等でも指紋認証機能が活用されています。

世界語についてはこれまでエスペラント語が提唱されましたが、活用しにくいこともあってか、衰退してしまいました。より簡単で理解しやすい新しい世界語が必要と感じる次第です。

世界の平和を統括している国連にて、世界の語学の権威者や先端科学の権威者を動員して、新世界語を捻出作成する。そして各国は自国語対世界語の辞典を作成し、世界語の教育を実施すれば、三つ子も流暢に話す道理からも、短期間に全世界が世界語一つになり、実に世界平和の暁光を仰げましょう。

この提唱を、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）発祥の地、国分隼人の地から発信し、あらゆる手段を実施し、国連を動かして実行することが出来るならば、世界の平和をもたらすライオンズクラブの大きなアクティビティになることは間違いないと確信しております。そして我が日本国も世界平和の暁光国として崇敬されましょう。我々の社会の現状は、「井の中の蛙」の感じがしてなりません。やがては世界通貨の統一も課題とされましょう。いずれにしても、それぞれの国の文化や伝統という特性を大切に尊重しながら、世界は一つになるべきなのです。

国際理事、地区ガバナーを始め、日本全国のライオンの皆様、ライオンズクラブ国際協会の本来の根本的使命である本物の世界平和を求めるために真剣にご検討頂き、行動に移して頂くことを願ってやみません。皆様のご意見やご感想を頂ければありがたく存じます。

Close up

親から子へ。高山祭を支える伝統の技

うちでは主に高山祭の衣装を染めています。今、春の山王祭に向けて注文を受けているのは、全部で30着分。1着分を仕上げるのは1週間ぐらいの工程で、30着分作るのにはだいたい2カ月ぐらいかかります。これは闘鶏楽の衣装。闘鶏楽をやってる神社は30社あって、それぞれ模様が違うんです。他に曳き手の衣装などもあって、高山だけでなく周辺の神社の分もありますから、数えきれない程の型を保管しています。

飛騨染めの特徴は主に顔料を使うところです。型を使って生地に糊を置き、刷毛でムラなく顔料を塗っていく。けっこう細かい作業です。顔料は染料に比べて発色がよく、奇麗に仕上がります。糊を落とした後、寒ざらしすることで、更に発色がよくなる。和紙を作る時もコウゾを雪にさらしますが、それと同じ。太陽の光が雪に当たるとオゾンが発生し、生地の白がより白くなるんです。

私は5代目で、創業は明治元年。戦後まで4、5軒あったようですが、今はうちだけです。家の仕事をずっと見ていたので、小さいうちからいつかはやらなんなと思ってはいました。小学生の頃から手伝いもしていて、いちばん簡単なところを塗らせてもらってたんです。面白いなと思いながらやってましたね。大学で染織を専攻して、家へ帰って父の下で修行を始めたのが24歳の時。と言っても、親父に教えてもらうということはなかったです。自分で見て、覚える。耳で覚えるのでなく、自分の手で覚えないと身につかないんです。うちが最後の一軒ということで、後継者のことがいちばん気掛かりですね。息子が3人いるので、誰かが継いでくれるかな。やってほしいなと思っています。

染めの仕事は全部手仕事なので、一枚一枚違うでしょう? 祭を見ていると、あれは自分が染めたもの、こっちは親父が染めたものと分かるんです。やはり自分の染めた衣装を見るとうれしいですね。もうそろそろ親父に追いついたと思いたいですが、まだまだ盗まないかんです。

3年前、屋台のある町内に店を出したのを機に、初めて屋台を引いたんです。自分が染めた衣装を着て、念願かなって屋台に上った時は感激しました。

衣装の図柄は下絵や型で保存。下絵には線に沿って針穴が開いていて、上から桐の木片を燃やした墨でなぞって生地に写す。桐の墨は軽いので容易に消える。創業当時の型は現代人の体格には小さく合わなくなったため、少しずつ作り直す作業を進めている

■柚原雅樹

ゆはら・まさき　飛騨染め職人。㈲ゆはら染工代表取締役。高山ライオンズクラブ。1966(昭和41)年高山市生まれ。東京造形大学テキスタイル学科でデザインと染色を学んだ後、91年から家業の修行に入り、父と共に高山祭の衣装を手掛ける。91年6月高山レオクラブに入会し95年度会長。任期終了後にレオクラブを退会し、96年9月に高山ライオンズクラブ入会。今年度同クラブ会計。

構成・写真／河村智子

エブリデー・ヒーロー

＊ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」募集中。会員の皆さんだけでなく、会員家族、事務局員などライオンズにかかわる方の投稿を歓迎します。▼800～2千字程度の文章にまとめ「エブリデー・ヒーロー」係へお送りください。送付先は57㌻をご覧ください。

イラスト／吉田悦子

"Lions are everyday heros."

「330・A地区のライオンズ会員の皆様へ」

今年の春先と9月下旬の二度にわたり本県の津軽地方を襲った雹（ひょう）により、町の主産業であるりんごに甚大な被害が出ました。

このことを知った東京のライオンズクラブの皆様から、あえてこのりんごをお使いくださるとのお申し出に、心から感謝申し上げる次第です。

りんごの表面のほんの一部に「雹害」の痕がありますが、食味と形には何の問題もございません。板柳町は平成14年に全国初の「りんごまるかじり条例」を制定し、安全・安心なりんご作りに一生懸命に取り組んでいます。

皆様が雹害に遭ったりんごを大量にご購入くださったことで、板柳町のりんご農家は大変助かりました。皆様の心温まるご支援は、被害農家を元気づけ、来年の生産意欲の励みとなっております。

これまで、ライオンズクラブはボランティア団体であるとの認識はあったものの、こういう形のボランティア活動に心から感謝し、敬意を表します。

板柳町は、今後も安全でおいしいりんご作りを始め、他の特産品作りにもがんばります。これをご縁に末永いお付き合いをお願い申し上げます。

舘岡一郎／青森県北津軽郡板柳町町長

＊330・A地区（石井征二ガバナー）では地区緊急災害対策委員会の発案で、地区内クラブ、会員が雹害に遭った合計3千箱のりんごを購入しました。

「さりげない優しさ」

数年前の地区年次大会の会場に向かっている時、偶然当クラブ会員のNさんと出会い、地下鉄駅から会場までの数分を雑談しながら一緒に歩きました。

事務局に入りたての頃で、資料は……領収証は……連絡事項は……などと頭の中はいっぱいの状態。後になって、私は急ぐこともなく自分のペースでのろのろと歩いていたことに気が付きました。

私より20㌢以上も背の高いNさんは、上の空の私に合わせて、かなりゆっくりと歩いてくださったと思います。そのさりげない優しさと思いやりに感激しました。思い出すたびに心が温かくなります。

高島京子／北海道・石狩ライオンズクラブ事務局

「バッジ一つで」

ライオンズに入会して、ほぼ30年が経ちます。国内の出張の際も、海外へ出掛ける時もライオン・バッジを外したことがありません。新幹線でバッジを付けた会員に会うと「所属はどちらですか？」と問い掛けます。そのおかげで、他府県の会員との交友が生まれました。

クラブ幹事を受けて以来20数年間、毎年、OSEALフォーラムや国際大会に参加して、ライオン・バッジ一つで世界の仲間と交流を続けております。

松浦弘／広島県・三原中央ライオンズクラブ

徳島県つるぎ町

寒風剣山おろしに揺れる、庭先の極太手延べそうめんを訪ねて

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

「そうめん」か「冷や麦」か

第一印象は「そうめんにしては太い」であった。三輪（奈良県）や小豆島（香川県）、播州（兵庫県）のものと比較すると、確かに阿波徳島の半田そうめんは太い。特に決まった太さはないが、他の産地のそうめんが0・6ミリから1ミリ未満なのに対し、半田そうめんの麺の太さは1・2ミリから1・5ミリ程度。最も太いもので1・8ミリもある。

実際、この半田そうめんを「そうめんではなく冷や麦」と指摘する人もいる。日本農林規格（ＪＡＳ）によると、断面の直径が1・3ミリ未満をそうめん、1・3ミリ以上1・7ミリ未満を冷や麦、1・7ミリ以上はうどんと定義されており、これによると半田そうめんは分類上では冷や麦である。「半田冷や麦」という名で呼ぶべきなのだろうか。

「6年程前に農水省に冷や麦と名を変えるべきだと指摘されたことがありましたが、江戸時代から続く名物ということでその案は却下されました。今では半田そうめんの名は登録商標となっています」

とは、半田そうめん組合のライオン瀧原満（半田ライオンズクラブ）の談。「半田そうめん」の名を使用出来るのは、その名の通り旧・半田町（つるぎ町）内で製造している事業所に限られている。

それにしてもなぜ麺が太いのだろう。半田そうめんの起源には諸説あるが、天保時代に吉野川河畔で農家の副業として作られたという説が有力だ。製法を伝えたのは、吉野川を舟で行き来していた船頭たち。今の奈良県三輪町の三輪そうめんの製法がベースになっていると言われる。

「見よう見まねのにわか仕込みでは、そうめんを細く延ばすことは難しい。船頭の技術が未熟だったためにここのそうめんは太くなったようです」

とライオン瀧原が話せば、同じくそうめん生産者であるライオン竹田厚美（半田ライオンズクラブ）は、

「小麦粉の質の問題で太くせざるを得ないという事情もあったようです。でも、腰が強く、延びにくく、独特の食感を味わうことが出来るのはこの太さのおかげ」

と誇らしげだ。

秋から冬にかけ、阿讃山脈から「剣山おろし」と呼ばれる寒風が吹き始めると、半田のそうめん作りはいよいよ最盛期を迎える。

冷たい風が吹き下ろす真冬に生産の最盛期を迎える半田そうめん。11月から3月の間、屋外で麺を乾燥させる「庭干し（かどぼし）」を見ることが出来る

麺同士がくっつかないように、麺に箸を入れる

冬到来、青空に純白のそうめん

農閑期の副業として広まったつるぎ町のそうめん作り。一時は３００軒程あった生産者も今では40軒。それでも年間25億円を売り上げる町の主要産業

である。澄みわたった青空に白いそうめんの暖簾が映える「庭干し（かどぼし）」の風景は、つるぎ町が誇る冬の風物詩である。

２００年前から代々そうめんを作り続けてきた杉本さんのお宅で庭干しの作業が見られるというので訪ねた。

作業場では当家4代目の杉本博人さんが「箸かけ」の作業を行っていた。「はた」と呼ばれる大きな木の枠に、よりをかけながら少しずつひも状に延ばした太さ1センチ長さ60センチ程の生地を掛け、箸を入れて一気に2メートル近くまで延ばす作業だ。

このように半田そうめんは、刃物で切って細くするのではなく、練った生地によりをかけながら延ばす手延べ製法で作られる。コシがあり、ゆでても延びにくいという特長はこの手延べの工程によるものだ。

杉本さんの作業を見ていると、60センチの麺が数秒で3倍近い長さになっていた。あまりにもあっという間の出来事なので簡単そうに見えるが、麺を均等に延ばすには経験に裏打ちされた技術が必要だ。麺と麺の間に箸を入れさせてもらったが、麺はまるでゴムのように弾み、想像以上に強度があった。

これは生地の原料・小麦粉に含まれるグルテンが熟成した結果である。半田そうめんは熟成を重ねることで、弾

力のある麺に仕上がっている。
　箸かけが済むといよいよ庭干しだ。麺を外気に触れさせて、ここでもまた、ゆっくりと熟成させながら翌日の昼過ぎまで乾燥させる。
「庭干しを始めた状態では麺に含まれる水分量は45％程度。これを一晩外に置くと25％程に。最終的には乾燥室で強制的に乾かすことで13％以下にします」（杉本さん）
　小麦粉の状態で水分が14％というから、それ以上の乾燥を経て小麦の生地はそうめんになる。

4

2

味の決め手は塩加減

　半田のそうめん作りには全部で20近い工程がある。その日の夕方までに麺を乾燥させるには、熟成時間を考慮するとどうしても小麦粉をこね始める時間が朝の4時、5時になる。
　午前5時30分、淵尻一三（半田ライオンズ）の㈱八千代上蓮製麺の工場を訪ねてみると、既に生地作りが終わろうとしていた。
　原材料は小麦粉に食塩。これに吉野川水系の伏流水を使って練りあげ、食用油を塗りながらよりをかけて引き延ばしていく。油を塗るのは延ばす時に生地がくっついて団子になるのを防ぐため。生地100キロに対し500グラム程度の油が使われるが、熟成の課程で油は抜ける。
　気温や湿度によって生地の熟成時間は変わる。これを調節するのが塩。気温が上がると小麦粉は延びようとするが、これを塩が抑えてくれる。塩分濃度は日によって違うが、特に夏場に作るそうめんは塩が濃くなる。
「朝いちばんに行う作業は塩加減を決めること。この加減はそうめん工場の最重要機密です」
　と淵尻。
　出来上がった生地は最初、ドラム缶程の太さだが、これを板状に延ばし空気を含ませるように包み込んで丸くして更に延ばしていく。だから完成した

半田そうめんの断面をよく見ると真ん中に穴が空いている。これが手延べの証明だ。機械で麺を延ばして細く切って仕上げる機械麺にこの穴は存在しない。

そうめんは季節商品という印象が強く、冬場は売上が減るが、半田では冬でもよくそうめんを食べる。寒い季節、食卓の主役と言えば鍋料理。ぐつぐつと煮えた鍋の脇には、半田そうめんが欠かせない。ゆでずに乾麺のまま鍋に投入するという豪快かつ手軽な調理法が人気の秘密。そうめん自体に塩気があるので特に味付けしなくてもおいしく食べることが出来る。よりをかけながらゆっくりと時間をかけた手延べ麺なので、鍋の中に入れてもトロトロになりにくいのが特徴だ。鍋からそうめんをすくい上げ、噛みしめてみると小麦粉の風味としっかりとした塩気が口に広がった。この風味、太いそうめんならではである。

❶夏の食べ物というイメージが強いが、鍋との相性も抜群だ
❷機械を使って、麺に「より」をかけて細く延ばしていく。よりをかけることでコシのある麺になる
❸一般に太いと言われる半田そうめんだが、1・2〜1・8ミリと太さもまちまち
❹かつて、つるぎ町にそうめんをもたらした吉野川。今ではこの川の伏流水でそうめんが作られている

郷土自慢・クラブ自慢

半田ライオンズクラブの郷土自慢は愛宕（あたご）柿。釣り鐘状で先が細い形が特徴の渋柿で、徳島県西部で盛んに栽培されている。ドライアイスとアルコールに漬け込んで渋を抜き、袋詰めにされたものが、主に広島や岡山などの山陽地方へ出荷される。最近は、同じ柿でも初めから糖度の高いものが簡単に手に入るので、売り場でも苦戦を強いられる愛宕柿。でも、手間暇をかけてじっくりと引き出した素朴な甘みは、懐かしさを感じさせてくれるとあって人気が高い。足が早いため、渋抜き後1週間以内が食べ頃だ。

▼半田ライオンズクラブ（長井裕幸会長／27人）＝1991年1月26日結成／スポンサー：脇ライオンズクラブ

■半田ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（56ページ）

読者プレゼント

半田そうめんを25人の読者に

「ふるさと探訪」(51ページ)に登場した徳島県・半田ライオンズクラブから、記事で紹介した半田手のべそうめんが、計25人の読者にプレゼントされます。

同クラブで、そうめん製造を営む会員は5人。(株)八千代上蓮製麺(ライオン渕尻一三)、吉田屋(有)(ライオン吉田光子)、竹田製粉製麺工場(有)(ライオン竹田厚美)、(有)たきはら手延製麺(ライオン瀧原満)、半田製麺(株)(ライオン前田秀次郎)の5社製品をそれぞれ5人にプレゼント。

応募要領:はがきに「半田そうめん」と明記し、住所、氏名、電話番号、クラブ名をご記入の上、ライオン誌プレゼント係あてにご応募ください(どの製造元の品物が当たるかは当方にお任せください)。本誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0)からも応募出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は3月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

2009年4月号予告

THEME **環境問題**

無駄を省いたり、ちょっと我慢したり、エコ活動は地味な印象がある。しかし、今やエコに関心を寄せるライフスタイルが「かっこいい」と言われる時代になった。そこで環境技術を駆使しつつデザイン性も高い注目製品をピックアップ。CO_2削減や省資源などエコ活動を実践するライオンズの取り組みもリポートする。

築地通信

●クラブ・リポートで紹介した取手大利根ライオンズクラブの七福神巡りは今年の初取材だった。取手駅を降り、軽い足取りで目的地に向かおうとしたその時、足下がツルッ! 前日の雨が朝の冷え込みで凍り、それに足をとられて尻餅をついてしまった。取材中は気にならなかったが、打った所がだんだん痛み出し、帰ってから湿布を貼った。そして、ス~ス~して居心地が悪いお尻をさすりながら、こりゃあ当たり年かも、とほくそ笑んだお気楽な私である。(すずき)

●今年も風邪やインフルエンザが猛威を振るっている。毎日のうがい、手洗いはもちろんのこと、予防のためのマスクも欠かさずに生活していたはずが風邪を引いてしまった。幸いインフルエンザではなかったものの高熱が出、辛い数日間を過ごすこととなった。しかし同時期に職員2人がインフルエンザに感染して、更に身近にインフルエンザの危険を感じた。怖いなーと思いながら、今まで以上に徹底した自己管理を心掛けなくては。(よしだ)

ライオン誌事務所来訪者芳名録

17 千葉県四街道 楠岡 巌
23 千葉 岡野 正義

ライオン誌投稿要領

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。▼住所、氏名、クラブ名を明記。

■クラブ・リポート34~41ページ:アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。関連写真があれば添付。

■獅子吼43~47ページ:会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。

■エブリデー・ヒーロー50ページ:ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」をお寄せください。800~2,000字程度で。会員家族、事務局員の投稿も歓迎。

送付先:
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌事務所
Fax:03-3546-2630 E-mail:edit@thelion.jp

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　後藤隆一
国際理事　栢森新治
国際理事　杉本忠夫
委員長　山根　健（336複合地区）
編集長　坂井　正（333複合地区）
委　員　渡邊豊隆（330複合地区）
委　員　瀧澤嘉門（331複合地区）
委　員　坂本和彦（332複合地区）
委　員　小岱義正（334複合地区）
委　員　大島康男（335複合地区）
委　員　塩倉安伸（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

100年に一度の金融危機

ライオン誌
日本語版委員
◉
塩倉安伸
（鹿児島さつま）

　昨今の世界経済を振り返ってみると、アメリカの住宅バブル崩壊によるサブプライム・ローンの焦げ付き問題が、昨年秋の米証券大手リーマンブラザーズの破綻を契機に、100年に一度の金融危機と言われる世界的大恐慌へと発展、景気後退が鮮明になった。アメリカの株価はもちろん、日本の株価も昨年10月27日、19年振りにバブル崩壊後の最安値を更新。世界の基準通貨であるドルの失墜により、円が急騰して1ドル90円を突破した。世界的に自動車の販売台数が低水準にとどまり、企業業績の悪化は深刻な雇用問題を引き起こして、いわゆる派遣労働者は次々に解雇されている。2009年は世界的に暗い「金融危機」「世界不況」などと表現される不況ムードの中、幕を開けた。

　ただでさえ、ライオンズの会員数はアメリカを中心に減少傾向にある。今年度はGMTという国際的リーダーによる会員増強機関を設け、その増強に努力中ではあるが、アメリカ発の不況が今後、ライオンズ発展の足を引っ張ることにもなりかねない。

　また、LCIFは基金により生み出された利潤によって運営がなされているが、かかる金融危機の中で今後の財団運営にいかなる影響が生じてくるか、心配されるところである。アメリカはこの金融危機を脱却するためいち早くゼロ金利政策に転換した。今まで7%ぐらいの高金利で運営されていた基金の利回りは、今後ほとんど期待出来ない状態に陥ってしまうのではないか。果たしてこのような金融情勢が何年続くのであろうか。

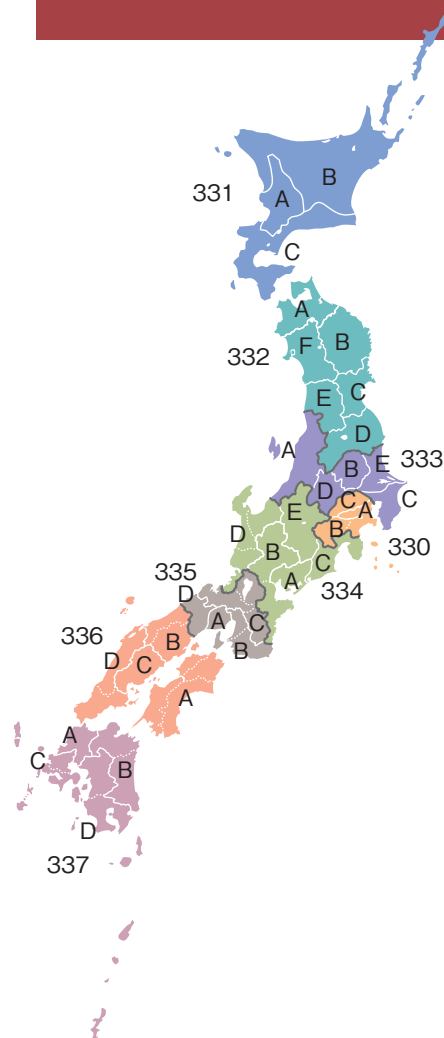
　アメリカ経済が危機的状態にあるということは、アメリカにその本部を置く国際協会組織及びその財団の危機でもある。

　ライオンズクラブの組織について、運営の合理化について、その基金の管理について、かかるすべての問題に、日本から選出された国際理事の方々がリーダーシップを大いに発揮されて、この難局を乗り越えていかれんことを願って止みません。

日本のライオンズ

2008.12.31　ServannA報告による

地区	都道府県	■クラブ数	■会員数	期首から の入会	期首から の退会	期首から の増減
330-A	東京	202	5,273	367	243	124
330-B	神奈川・山梨・東京	191	5,306	285	206	79
330-C	埼玉	104	2,807	111	78	33
330	計	497	13,386	763	527	236
331-A	北海道（道央）	77	2,773	162	128	34
331-B	北海道（道北・道東）	91	2,731	85	110	-25
331-C	北海道（道南）	60	1,923	73	100	-27
331	計	228	7,427	320	338	-18
332-A	青森	68	1,934	57	98	-41
332-B	岩手	55	1,833	184	78	106
332-C	宮城	82	1,546	72	83	-11
332-D	福島	77	2,089	98	108	-10
332-E	山形	58	1,912	56	74	-18
332-F	秋田	52	1,359	85	62	23
332	計	392	10,673	552	503	49
333-A	新潟	80	3,010	111	118	-7
333-B	栃木	57	1,434	60	54	6
333-C	千葉	135	3,577	149	175	-26
333-D	群馬	55	2,095	125	77	48
333-E	茨城	81	3,036	83	105	-22
333	計	408	13,152	528	529	-1
334-A	愛知	120	5,795	220	191	29
334-B	岐阜・三重	87	3,948	181	134	47
334-C	静岡	84	3,378	120	110	10
334-D	富山・石川・福井	101	4,292	165	140	25
334-E	長野	53	2,251	100	45	55
334	計	445	19,664	786	620	166
335-A	兵庫（東）	109	2,883	115	128	-13
335-B	大阪・和歌山	203	6,630	269	324	-55
335-C	滋賀・京都・奈良	122	4,392	180	154	26
335-D	兵庫（西）	67	2,198	127	68	59
335	計	501	16,103	691	674	17
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	6,141	251	289	-38
336-B	鳥取・岡山	99	3,529	150	161	-11
336-C	広島	104	3,918	167	156	11
336-D	島根・山口	105	3,476	145	166	-21
336	計	464	17,064	713	772	-59
337-A	福岡・長崎	118	4,783	242	196	46
337-B	大分・宮崎	82	2,574	116	127	-11
337-C	佐賀・長崎	84	3,105	152	163	-11
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	144	4,332	224	263	-39
337	計	428	14,794	734	749	-15
総計		3,363	112,263	5,087	4,712	375
世界のライオンズの		7.5%	8.6%			

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2008.12.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	205
世界のクラブ数	45,100
世界の会員数	1,308,037
期首からの増減	2,399

国	クラブ数	会員数	期首から の増減
アメリカ	12,766	376,609	-5,065
インド	5,275	164,420	6,965
韓国	1,987	83,566	-60

ライオン誌3月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可 定価180円 送料実費76円
2009年(平成21年)2月20日発行 毎月1回20日発行 第51巻第9号
発行所 ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所 〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 Tel 03-3542-9571
印刷所 凸版印刷株式会社